

港湾・漁港漁場関係工事出来形管理基準

凡 例

特 ； 図面及び特記仕様書

共 ； 港湾・漁港漁場関係工事共通仕様書

業務共通仕様書；調査・設計・測量

業務等共通仕様書

港湾・漁港漁場関係工事出来形管理基準

目次

1. 浚渫工		6. 本体工（場所打式）	
1 - 1 ポンプ浚渫工	1-236	6 - 1 場所打コンクリート工	1-247
1 - 2 グラブ浚渫工	"	6 - 2 水中コンクリート工	"
1 - 3 硬土盤浚渫工	"	6 - 3 プレバックドコンクリート工	1-248
1 - 4 岩盤浚渫工	"	6 - 4 水中不分離性コンクリート工	"
1 - 5 バックホウ浚渫工	"	7. 本体工（捨石・捨ブロック式）	
2. 海上地盤改良工		7 - 1 洗掘防止工	1-248
2 - 1 床掘工	1-237	7 - 2 本体捨石工	"
2 - 2 置換工	"	7 - 3 捨ブロック工	"
2 - 3 圧密・排水工	"	7 - 4 場所打コンクリート工	1-249
2 - 4 締固工	1-239	8. 本体工（鋼矢板式）	
2 - 5 固化工	1-240	8 - 1 鋼矢板工	1-249
3. 基礎工		8 - 2 控工	1-250
3 - 1 基礎盛砂工	1-241	9. 本体工（コンクリート矢板式）	
3 - 2 洗掘防止工	"	9 - 1 コンクリート矢板工	1-253
3 - 3 基礎捨石工	1-242	9 - 2 控工	"
3 - 4 基礎ブロック工	1-243	10. 本体工（鋼杭式）	
3 - 5 水中コンクリート工	"	10 - 1 鋼杭工	1-253
3 - 6 水中不分離性コンクリート工	"	11. 本体工（コンクリート杭式）	
4. 本体工（ケーソン式）		11 - 1 コンクリート杭工	1-254
4 - 1 ケーソン製作工	1-244	12. 被覆・根固工	
4 - 2 ケーソン進水据付工	"	12 - 1 被覆石工	1-254
4 - 3 中詰工	1-245	12 - 2 被覆ブロック工	1-255
4 - 4 蓋コンクリート工	"	12 - 3 根固ブロック工	"
4 - 5 蓋ブロック工	"	12 - 4 水中コンクリート工	"
5. 本体工（ブロック式）		12 - 5 水中不分離性コンクリート工	"
5 - 1 本体ブロック製作工	1-246	13. 上部工	
5 - 2 本体ブロック据付工	"	13 - 1 上部コンクリート工	1-256
5 - 3 中詰工	"	13 - 2 上部ブロック工	"
5 - 4 蓋コンクリート工	"		
5 - 5 蓋ブロック工	1-247		

14. 付属工		22. 船揚場工	
14 - 1 係船柱工	1-257	22 - 1 床掘工	1-265
14 - 2 防舷材工	"	22 - 2 床掘土工	"
14 - 3 車止・縁金物工	"	22 - 3 基礎捨石工	"
14 - 4 防食工	1-258	22 - 4 裏込工	"
14 - 5 係船環工	"	22 - 5 被覆土工	1-266
		22 - 6 裏埋工	"
15. 消波工		22 - 7 裏埋土工	"
15 - 1 洗掘防止工	1-258	22 - 8 基礎栗石工	"
15 - 2 消波ブロック工	1-259	22 - 9 先端止壁ブロック工、張りブロック工	1-267
		22 - 10 中間止壁工	"
16. 裏込・裏埋工		22 - 11 コンクリート舗装工	"
16 - 1 裏込工	1-259	22 - 12 滑り材取付工	1-268
16 - 2 裏埋工	1-260		
16 - 3 裏埋土工	"	23. 魚礁工	
		23 - 1 単体魚礁製作工	1-268
17. 陸上地盤改良工		23 - 2 組立魚礁組立工	1-269
17 - 1 圧密・排水工	1-260	23 - 3 魚礁沈設工	1-270
17 - 2 締固工	"		
17 - 3 固化工	"	24. 着定基質工	
		24 - 1 着定基質製作工	1-270
18. 土工		24 - 2 着定基質組立工	1-271
18 - 1 掘削工	1-261	24 - 3 着定基質設置工	"
18 - 2 盛土工	"	24 - 4 石材投入工	"
18 - 3 路床盛土工	"		
18 - 4 法面工	"	25. 構造物撤去工	
		25 - 1 取壊し工	1-271
19. 植生工		25 - 2 撤去工	"
19 - 1 植生工	1-262		
		26. 仮設工	
20. 舗装工		26 - 1 仮設鋼矢板工	1-272
20 - 1 コンクリート舗装工	1-262	26 - 2 仮設鋼管杭・鋼管矢板工	"
20 - 2 アスファルト舗装工	1-263	26 - 3 仮設道路工	"
21. 維持補修工		27. 雑工	
21 - 1 維持塗装工	1-264	27 - 1 現場鋼材溶接工	1-273
21 - 2 防食工	1-265	27 - 2 現場鋼材切断工	"
		27 - 3 その他雑工	"

28. 埋立工

28 - 1 固化工 1-274
 28 - 2 埋立土工 "

29. 道路舗装工

29 - 1 コンクリート舗装工 1-274
 29 - 2 アスファルト舗装工 "
 29 - 3 道路付属工 1-275

[参 考]

様式・出来形 1-1(1) ; 浚渫出来形管理表 1-276
 様式・出来形 1-1(2) ; 浚渫出来形管理図 1-277
 様式・出来形 2-3 ; 置換材出来形管理表 1-278
 様式・出来形 2-4(1) ; 敷砂出来形管理表 1-279
 様式・出来形 2-4(2) ; 敷砂出来形管理図 1-280
 様式・出来形 2-5(1) ; マットコンパクショナール出来形管理表 1-281
 様式・出来形 2-5(2) ; 砂投入管理表 1-282
 様式・出来形 2-5(3) ; 締固工深浅図 1-283
 様式・出来形 2-6(1) ; 深層混合処理杭出来形管理表 1-284
 様式・出来形 2-6(2) ; 深層混合処理杭鉛直度管理表 1-285
 様式・出来形 3-2(1) ; 洗掘防止マット出来形管理表 1-286
 様式・出来形 3-2(2) ; 洗掘防止マット出来形管理図 1-287
 様式・出来形 3-3(1) ; 基礎石均し出来形管理図(1) 1-288
 様式・出来形 3-3(2) ; 基礎石均し出来形管理図(2) 1-289
 様式・出来形 3-4 ; マット(方塊)製作出来形管理表 1-290
 様式・出来形 4-1 ; マット製作出来形管理表 1-291
 様式・出来形 4-2 ; マット据付出来形管理表 1-292
 様式・出来形 4-3 ; 砂・石材中詰出来形管理表 1-293
 様式・出来形 4-4 ; 蓋コンクリート出来形管理表 1-294
 様式・出来形 5-1(1) ; L型マッド製作出来形管理表 1-295
 様式・出来形 5-1(2) ; セラーマッド製作出来形管理表 1-296
 様式・出来形 5-1(3) ; マッド製作等外觀チェックリスト 1-297
 様式・出来形 6-1(1) ; 上部コンクリート(防波堤)出来形管理表 1-298
 様式・出来形 6-1(2) ; 上部コンクリート(岸壁)出来形管理表 1-299
 様式・出来形 8-1 ; 鋼矢板出来形管理表 1-300
 様式・出来形 8-2(1) ; 鋼杭打込記録 1-301
 様式・出来形 8-2(2) ; 鋼杭出来形管理表 1-302
 様式・出来形 8-2(3) ; 腹起出来形管理表 1-303
 様式・出来形 8-2(4) ; タイ材出来形管理表 1-304
 様式・出来形 12-1(1) ; 被覆石均し出来形管理図(1) 1-305
 様式・出来形 12-1(2) ; 被覆石均し出来形管理図(2) 1-306
 様式・出来形 12-3 ; 根固ブロック製作出来形管理表 1-307
 様式・出来形 14-1 ; 係船柱出来形管理表 1-308
 様式・出来形 14-2 ; 防舷材出来形管理表 1-310
 様式・出来形 14-3 ; 車止出来形管理表 1-310
 様式・出来形 14-4(1) ; 電気防食出来形管理表 1-311

様式・出来形 14-4(2)	; 電気防食電位測定管理表	1-312
様式・出来形 18-1	; 土砂掘削出来形管理表	1-3103
様式・出来形 20-1(1)	; 路盤出来形管理表	1-314
様式・出来形 20-1(2)	; 路盤出来形管理図	1-315
様式・出来形 20-2(1)	; 舗装出来形管理表	1-316
様式・出来形 20-2(2)	; 舗装出来形管理図	1-317
様式・出来形 23-1	; 単体魚礁出来形管理図	1-318
様式・出来形 23-2	; 組立魚礁組立出来形管理図	1-319
様式・出来形 23-3(1)	; 魚礁沈設出来形管理表(1)	1-320
様式・出来形 23-3(2)	; 魚礁沈設出来形管理表(2)	1-321
様式・出来形 23-3(3)	; 魚礁沈設出来形管理表(3)	1-322
様式・出来形 23-3(4)	; 魚礁沈設出来形管理表(4)	1-323
様式・出来形 23-3(5)	; 魚礁沈設出来形管理表(5)	1-324
様式・出来形 24-4	; 石材投入出来形管理表	1-325
様式・出来形 27-1(1)	; すみ肉溶接出来形管理表	1-326
様式・出来形 27-1(2)	; 突合わせ溶接出来形管理表	1-327
様式・出来形 27-1(3)	; 鉄筋ルア溶接出来形管理表	1-328

1. 浚渫工

1-1 ポンプ浚渫工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. ポンプ浚渫	水深 (底面)	業務共通仕様書による。又は特による。	特による。	10cm	業務共通仕様書2-2-5 平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又は特による。	様式・出来形1-1参照 + ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
	(法面)	特 検測方法による。	測線間隔は 特 による。	10cm	業務共通仕様書2-2-5 平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又は特による。	

1-2 グラブ浚渫工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. グラブ浚渫							1-1 1.ポンプ浚渫を適用する。

1-3 硬土盤浚渫工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 硬土盤浚渫							1-1 1.ポンプ浚渫を適用する。

1-4 岩盤浚渫工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 砕岩浚渫							1-1 1.ポンプ浚渫を適用する。

1-5 バックホウ浚渫工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. バックホウ浚渫							1-1 1.ポンプ浚渫を適用する。

2. 海上地盤改良工

2-1 床掘工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. ポンプ床掘 2. グラブ床掘 3. 硬土盤床掘 4. 砕岩床掘 5. バックホウ床掘	水深 (底面) (法面)	調査共通仕様書による。又は特による。 調査共通仕様書による。又は特による。	測線間隔は特による。 測線間隔は特による。	10cm 10cm	平面図に実測値を記入し提出 平面図に実測値を記入し提出	±30cm又は特による。 外側2m(法面に直角) 内側30cm(法面に直角)又は特による。	断面図は監督職員が指示したとき作成し提出

2-2 置換工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 置換材均し	延長 天端高、天端幅、法面	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定 陸上部；スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定 水中部；スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	施工完了後 測線間隔20m以下測点間隔10m以下 測線間隔20m以下測点間隔20m以下	10cm 天端高1cm 天端幅10cm 10cm	管理図に延長を記入し提出 管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	+規定しない -0 天端高 ±50cm又は特による 天端幅、法面は特による。	様式・出来形2-3参照

2-3 圧密・排水工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. サンドドレーン	位置 天端高 先端深度 砂の投入量	トランシット及び光波測距儀等により測定 打込記録の確認 打込記録の確認	転船毎及び監督職員の指示による。 全数 全数	1cm 10cm 0.1m ³	管理図に測定結果を記入し提出 打込記録紙及び管理表を作成して提出 打込記録紙に砂の圧入量を記入し提出	特による。 天端高 +規定しない -0 先端深度 +0 -規定しない	自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されていれば不要 +；設計値より浅いことをいう。 -；設計値より深いことをいう。

2 - 3 圧密・排水工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2 . 敷砂均し	延 長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	様式・出来形2-4参照
	天端高 天端幅 法面勾配	陸上部；スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔20m以下 測点間隔10m以下	天端高 1 cm 天端幅10cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高 ±30cm 天端幅、法面勾配は 特 による。	
		水中部；スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm			
3 . 載荷土砂	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高 天端幅 法面勾配	陸上部；スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔20m以下 測点間隔10m以下	天端幅10cm 天端高 1 cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高 ±50cm 天端幅、法面勾配は 特 による。	
		水中部；スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm			
4 . ペーパードレーン	位 置	トランシット及び光波測距儀等により測定	転船毎及び監督職員の指示による。	1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	特 による。	自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されていれば不要
	天端高 先端深度	打込記録の確認	全 数	10cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 + 規定しない - 0 先端深度 + 0 - 規定しない	+ ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
	ドレーン材の打込長	打込記録の確認	全 数	10cm	打込記録紙に打込長を記入し提出		
5 . グラベルマット	延 長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	様式・出来形2-4参照
	天端高 天端幅 法面勾配	陸上部；スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔20m以下 測点間隔10m以下	天端高 1 cm 天端幅10cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高 ±30cm 天端幅、法面勾配は 特 による。	
		水中部；スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm			

2 - 3 圧密・排水工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
6 . グラベルドレーン	位 置	トランシット及び光波測距儀等により測定	転船毎及び監督職員の指示による。	1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	特 による。	自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されていれば不要
	天端高 先端深度	打込記録の確認	全 数	10cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 + 規定しない - 0 先端深度 + 0 - 規定しない	+ ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
	砕石の投入量	打込記録の確認	全 数	0.1m ³	打込記録紙に砕石の投入量を記入し提出		

2 - 4 締固工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . ロッドコンパクション	位 置	トランシット及び光波測距儀等により測定	特 による。	10cm	管理図に測定結果を記入し提出		
	充填材の投入量			1.0m ³	測定記録等の提出		
	天端高	打込記録の確認	全 数	10cm	打込記録の提出	天端高 + 規定しない - 0	
	先端深度	打込記録の確認	全 数	10cm	打込記録の提出	先端深度 + 0 - 規定しない	+ ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
2 . サンドコンパクションパイル	位 置	トランシット、光波測距儀により測定	転船毎及び監督職員の指示による。	1 cm	管理図に測定結果を記入し提出	特 による。	様式・出来形2-5参照 自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されていれば不要

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
2. サンドコンパクションパイル	天端高 先端深度	打込記録の確認	砂杭全数	10cm	打込記録紙及び管理表を作成して提出	天端高 + 規定しない - 0 先端深度 + 0 - 規定しない	+ ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
	砂の投入量	打込記録の確認	砂杭全数	0.1m ³	打込記録紙に砂の圧入量を記入し提出		
	盛りり量	レベル、音響測深機又はレッドにより測定	完了後 測線・測点間隔は 特 による。	10cm	盛りり量の平面図を作成し提出		
3. 盛上土砂撤去	撤去量	レベル、音響測深機又はレッドにより測定	完了後 測線・測点間隔は 特 による。	10cm	撤去量の平面図を作成し提出		
4. 敷砂均し							2-4 2. 敷砂均しを適用する。

2 - 5 固化工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 深層混合処理杭	位置	トランシット及び光波測距儀等により測定	海上施工は改良杭全数。 陸上施工は 特 による。	1 cm	管理図に測定結果を記入し提出		様式・出来形2-6参照 自動位置決め装置を使用している場合、その作動状況が確認されていれば不要
	鉛直度 接合	トランシット及び傾斜計等により処理機の鉛直度を測定	改良杭全数 深度方向に2～5m程度毎に測定（引抜きと貫入時）	1分又は1cm	改良杭先端部の軌跡図を作成し提出	特 による。	陸上施工は除く。
	天端高 先端深度	深度計、ワイヤー繰出長さ、潮位計、乾舷及び処理機等により確認	改良杭全数	1 cm	打込記録紙に天端高、先端深度を記入し管理表を提出	天端高 + 規定しない - 0 先端深度 + 0 - 規定しない	+ ; 設計値より浅いことをいう。 - ; 設計値より深いことをいう。
	固化材吐出量	流量計等により硬化材のm当りの吐出量を確認	改良杭全数	1ℓまたは1t	打込記録紙に硬化材吐出量を記入し提出		
	盛りり量	音響測深機又はレッドにより測定	改良前、改良後	10cm	盛りり量の図面を作成し提出		
2. 敷砂均し							2-4 2. 敷砂均しを適用する。

2 - 5 固化工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
3. 事前混合処理	延長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高、天端幅	陸上部：スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔20m以下 測点間隔10m以下	天端幅10cm 天端高 1 cm	管理図に天端高、天端幅を記入し提出	特 による。	
		水中部：スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm			
4. 表層固化処理	延長	スチールテープ、間縄等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高、天端幅、厚さ	スチールテープ、レベル、光波測距儀等で測定	測線間隔20m以下 測点間隔10m以下	天端幅10cm 天端高・厚さ 1 cm	管理図に天端高、天端幅、厚さを記入し提出	特 による。	

3. 基礎工

3 - 1 基礎盛砂工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 盛砂均し	延長	スチールテープ、間縄、光波測距儀等により測定	施工完了後	10cm	管理図に延長を記入し提出	+ 規定しない - 0	様式・出来形2-4参照
	天端高、天端幅、法面勾配	スチールテープ、間縄、レッド又は音響測深機等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm	管理図に天端高、法肩、法尻、天端幅及び法面勾配を記入し提出	天端高 ± 30cm 天端幅、法面勾配は 特 による。	

3 - 2 洗掘防止工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 洗掘防止	敷設位置	スチールテープ、間縄等により測定	始、終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	特 による。	様式・出来形3-2参照 アスファルトマット、繊維系マット、合成樹脂系マット
	重ね幅	スチールテープ等により測定	1枚に2点	1 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	50cm以上(アスファルトマット、繊維系マット、ゴムマット) 30cm以上(合成樹)	
	延長	スチールテープ、間縄等により測定	マットの中心を区間毎及び全長	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	

3 - 3 基礎捨石工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 基礎捨石 (均しを行わない面)	天端高	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	特 による。	
	法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は10m以下、測点3点以上、但し、マウンド厚2m以下の場合は2点以上	10cm	均し出来形図を作成し提出	特 による。	
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	特 による。	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	法線上	10cm	均し出来形図を作成し提出	特 による。	
2. 捨石本均し	天端高	レベル又は 特 により測定	測線及び測点間隔は10m以下	1 cm	均し出来形図を作成し提出	± 5 cm	様式・出来形3-3参照
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	法線上	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
3. 捨石荒均し	天端高	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	注)-1 ±50cm、岸壁前面+0、-20cm又は 特 による。 異形ブロック据付面(整積)の高さ(法面に直角)±30cm 又は 特 による。	注)-1 係留施設・護岸・土留壁等の背面については、荒均しを適用しない。
	法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は10m以下、測点3点以上、但し、マウンド厚2m以下の場合は2点以上	10cm	均し出来形図を作成し提出	注)-2 ±50cm(法面に直角) 異形ブロック据付面(整積)の高さ(法面に直角)±30cm 又は 特 による。	注)-2 係留施設・護岸・土留壁等の背面については、荒均しを適用しない。
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	法線上	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	

3 - 4 基礎ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 基礎ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	様式・出来形3-4参照 ブロック(方塊)
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出		
	型枠形状寸法(異形ブロック)	観察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		
	ブロック外観(異形ブロック)	観察	全 数		観察結果を報告		
2. 基礎ブロック据付	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	1 cm	管理表を作成し提出	ブロック(方塊) 3 cm以下	
	延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上(最上段のみ)	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最上段のみ)	1 cm	管理表を作成し提出		

3 - 5 水中コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

3 - 6 水中不分離性コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中不分離性コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

4. 本体工（ケーソン式）

4-1 ケーソン製作工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. ケーソン製作	摩擦増大用マット敷設位置	スチールテープ等により確認	始・終端及び変化する箇所毎	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	特 による。	
	高さ	スチールテープ等により測定	完成時、四隅	1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	様式・出来形4-1参照
	幅	スチールテープ等により測定	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端	1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
	長さ	スチールテープ等により測定	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端	1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
	壁厚	スチールテープ等により測定	各層完成時、各壁 1箇所	1 cm	管理表を作成し提出	± 1 cm	
	底版厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	底版完成時、各室中央部 1箇所	1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
	フーチング高さ	スチールテープ等により測定	底版完成時、四隅	1 cm	管理表を作成し提出	+ 3 cm - 1 cm	
	対角線	スチールテープ等により測定	底版完成時及び完成時	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	バラスト	レベル等により測定	各室中央部 1箇所	1 cm	管理表を作成し提出	砕石・砂 ±10cm コンクリート ± 5 cm	投入量管理

4-2 ケーソン進水掘付工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. ケーソン進水掘付	法線に対する出入	トランシット及びスチールテープ等により測定	掘付完了後、両端 2箇所	1 cm	管理表を作成し提出	防波堤 ケーソ質量 2,000t未満±20cm、 2,000t以上±30cm 岸壁 ケーソ質量 2,000t未満±10cm、 2,000t以上±15cm	様式・出来形4-2参照
	掘付目地間隔	スチールテープ等により測定	掘付完了後、天端 2箇所	1 cm	管理表を作成し提出	防波堤 ケーソ質量 2,000t未満20cm以下、 2,000t以上30cm以下 岸壁 ケーソ質量 2,000t未満10cm以下、 2,000t以上20cm以下	
	天端高さ	レベルにより測定	掘付完了後、四隅 中詰完了時、四隅	1 cm	管理表を作成し提出		
	延長	スチールテープ等により測定	掘付完了後、法線上	1 cm	管理表を作成し提出		

4 - 3 中詰工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 砂・石材中詰	天端高	レベル、水系張り、スチールテープ等によりケーソン天端面からの下りを測定	1室につき1箇所(中心)	1 cm	管理表を作成し提出	陸上 ± 5 cm 水中 ± 10cm	様式・出来形4-3参照
2. コンクリート中詰 3. プレパックドコンクリート中詰	天端高	レベル、水系張り、スチールテープ等によりケーソン天端面からの下りを測定	1室につき1箇所(中心)	1 cm	管理表を作成し提出	陸上 ± 3 cm 水中 ± 5 cm	

4 - 4 蓋コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 蓋コンクリート	天端高	レベル、水系張り、スチールテープ等により測定	1室につき1箇所(中心)	1 cm	管理表を作成し提出	陸上 ± 3 cm 水中 ± 5 cm	様式・出来形4-4参照

4 - 5 蓋ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 蓋ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出		
2. 蓋ブロック据付	蓋ブロック据付(天端高)	レベル、水系張り、スチールテープ等により測定	1室につき1箇所	1 cm	管理表を作成し提出	陸上 ± 3 cm 水中 ± 5 cm	

5. 本体工（ブロック式）

5-1 本体ブロック製作工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 本体ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	様式・出来形5-1,3-4参照 L型ブロック セルラーブロック ブロック(方塊)
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形5-1,3-4参照 セルラーブロック
	型枠形状寸法（異形ブロック）	観 察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		
	ブロック外観（異形ブロック）	観 察	全 数		観察結果を報告		

5-2 本体ブロック据付工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 本体ブロック据付	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	1 cm	管理表を作成し提出	L型ブロック セルラーブロック 5 cm以下 直立消波ブロック ブロック(方塊) 3 cm以下	
	延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出		

5-3 中詰工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
中詰工							4-3中詰工を適用する。

5-4 蓋コンクリート工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
蓋コンクリート工							4-4蓋コンクリート工を適用する。

5 - 5 蓋ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
蓋ブロック工							4-5蓋ブロック工を適用する。

6 . 本土工 (場所打式)

6 - 1 場所打コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
場所打コンクリート工							
イ) 防波堤	天端高又は厚さ	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は± 2 cm 天端幅10mを超える場合は+ 5 cm - 2 cm	様式・出来形6-1参照 天端高さ又は厚さの管理項目の選定は 特 による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は± 3 cm 天端幅10mを超える場合は+ 5 cm - 3 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm 又は 特 による。	
ロ) 岸 壁	天端高又は厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は 特 による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 3 cm	
	防舷材ベッド	スチールテープ等により測定	スパン毎	1 cm	測定表を作成し提出		

6 - 2 水中コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

6 - 3 プレパッドコンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
プレパッドコンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

6 - 4 水中不分離性コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中不分離性コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

7 . 本体工 (捨石・捨ブロック式)

7 - 1 洗掘防止工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
洗掘防止工							3-2洗掘防止工を適用する。

7 - 2 本体捨石工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
本体捨石工							3-3基礎捨石工を適用する。

7 - 3 捨ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 捨ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	様式・出来形3-4参照 ブロック(方塊)
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出		
	型枠形状寸法 (異形ブロック)	観察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		
	ブロック外観 (異形ブロック)	観察	全 数		観察結果を報告		

7 - 3 捨ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2. 捨ブロック据付	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最下段、最上段)	1 cm	管理表を作成し提出	ブロック(方塊) 3 cm以下	
	延 長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上(最上段のみ)	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所(最上段のみ)	1 cm	管理表を作成し提出		

7 - 4 場所打コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
場所打コンクリート工	天端高	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇所以上 パラペット頂部は1スパン2箇所以上	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は± 2 cm 天端幅10mを超える場合は+ 5 cm - 2 cm	様式・出来形6-1参照 天端高さの管理項目の選定は 特 による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は± 3 cm 天端幅10mを超える場合は+ 5 cm - 3 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm 又は 特 による。	

8 . 本体工 (鋼矢板式)

8 - 1 鋼矢板工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 先行掘削	位 置	トランシット、スチールテープ等により測定	全 数	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	掘削長 掘削深度	レベル等により測定	全 数	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	掘削径	スチールテープ等により測定(水中の場合はケーシング径等により確認)	全数(水中の場合は適宜)	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	

8 - 1 鋼矢板工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
2. 鋼矢板							様式・出来形8-1参照
イ) 鋼矢板	打込記録	共 第4編5-10-2	40枚に1枚		打込記録を提出		
	矢板壁延長	スチールテープ等により測定(天端付近)	施工中適宜 打込完了時	1 cm	管理表を作成し提出	+ 矢板1枚幅 - 0	
	矢板法線に対する出入り	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認
	矢板法線に対する傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点	1/1000	管理表を作成し提出	10/1000以下	
	矢板法線方向の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	施工中適宜 打込完了時(両端部)	1 cm 1/1000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下	
	矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に1枚	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認
	矢板継手部の離脱	観察(水中部は潜水士)	全数		観察結果を報告		
ロ) 鋼管矢板	打込記録	共 第4編5-10-2	20本に1本		打込記録を提出		
	矢板壁延長	スチールテープ等により測定(天端付近)	施工中適宜 打込完了時	1 cm	管理表を作成し提出	特 による。	
	矢板法線に対する出入り	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、10本に1本及び計画法線の変化点	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認
	矢板法線に対する傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数確認後10本に1本及び変化点	1/1000	管理表を作成し提出	10/1000以下	
	矢板法線方向の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	施工中適宜 打込完了時(両端部)	1 cm 1/1000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下	
	矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、10本に1本	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認
	矢板継手部の離脱	観察(水中部は潜水士)	全数		観察結果を報告		

8 - 2 控工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 控鋼矢板	打込記録	共 第4編5-10-3	40枚に1枚		打込記録を提出		様式・出来形8-1参照
	矢板壁延長	スチールテープ等により測定(天端付近)	施工中適宜 打込完了時	1 cm	管理表を作成し提出	+ 矢板1枚幅 - 0	
	矢板法線に対する出入り	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認

8 - 2 控 工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 控鋼矢板	矢板法線に対する傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、20枚に1枚及び計画法線の変化点	1/1000	管理表を作成し提出	10/1000以下	
	矢板法線方向の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	施工中適宜打込完了時（両端部）	1 cm 1/1000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板1枚幅未満 10/1000以下	
	矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に1枚	1 cm	管理表を作成し提出	± 10cm	全数を目視で確認
	矢板継手部の離脱	観察（水中部は潜水士）	全 数		観察結果を報告		
2 . 控鋼杭	打込記録	共 第4編5-10-3	20本に1本		打込記録を提出		様式・出来形8-2参照
	杭頭中心位置	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	10cm以下	
	杭天端高	レベルにより測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	杭の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数	1°	管理表を作成し提出	直杭2°以下 斜杭3°以下	
3 . プレキャストコンクリート控壁	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外後全数	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	
	法線に対する出入	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所（最下段、最上段）	1 cm	管理表を作成し提出	特 による。	
	延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	天端高	レベル等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所	1 cm	管理表を作成し提出		
4 . 場所打コンクリート控壁	天端高又は厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は 特 による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	
	延長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 3 cm	

8-2 控工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
5. 腹起	取付高さ	レベル等により測定	取付完了時、両端（継手毎）全数	1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形8-2参照
	継手位置	観 察	取付完了時、全数		観察結果を報告		
	ボルトの取付け	観 察	取付完了時、全数		観察結果を報告		
	矢板と腹起しとの密着	観 察	タイロッド毎、全数		観察結果を報告		
6. タイ材 イ) タイロッド取付	取付け高さ及び水平度	レベル等により測定	締付後両端、全数	1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形8-2参照 腹起しに取り付ける場合は不要
	矢板法線に対する取付角度及び取付間隔	スチールテープ等により測定	締付後両端、全数	1 cm	管理表を作成し提出		
	定着ナットの締付け	観 察	全 数		観察結果を報告	ねじ山が3つ山以上突き出していること。	
	ターンバックルのねじ込み長さ	観 察	全 数	1 cm	観察結果を報告	定着ナットの高さ以上	
	リングジョイントのコンクリートへの埋込み	観 察	全 数		観察結果を報告		
	支保材の天端高	レベル等により測定	適 宜	1 cm	管理表を作成し提出		
ロ) タイワイヤー取付	取付高さ	レベル等により測定	締付後両端、全数	1 cm	管理表を作成し提出		腹起しに取り付ける場合は不要
	矢板法線に対する取付角度及び取付間隔	スチールテープ等により測定	締付後両端、全数	1 cm	管理表を作成し提出		
	定着ナットの締付け	観 察	全 数		観察結果を報告	ねじ山が3つ山以上突き出していること。	
	定着具端部栓の取付け	観 察	全 数		観察結果を報告		
	トランペットシースの取付	観 察	全 数		観察結果を報告		

9. 本体工（コンクリート矢板式）

9-1 コンクリート矢板工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. コンクリート矢板	矢板壁延長	スチールテープ等により測定（天端付近）	施工中適宜 打込完了時	1 cm	管理表を作成し提出	+ 矢板 1 枚幅 - 0	
	矢板法線に対する出入り	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、20枚に 1 枚及び計画法線の変化点	1 cm	管理表を作成し提出	特 による。	全数を目視で確認
	矢板法線に対する傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、20枚に 1 枚及び計画法線の変化点	1/1000	管理表を作成し提出	特 による。	
	矢板法線方向の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	施工中適宜 打込完了時（両端部）	1 cm 1/1000	管理表を作成し提出	上下の差が矢板 1 枚幅未満 2/100以下	
	矢板天端高	レベルにより測定	打込完了時、20枚に 1 枚	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	全数を目視で確認
	矢板継手部の離脱	観察（水中部は潜水士）	全 数		観察結果を報告		

9-2 控工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
控工							8-2控工を適用する。

10. 本体工（鋼杭式）

10-1 鋼杭工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 先行掘削							8-1 1. 先行掘削を適用する。
2. 鋼杭	打込記録	共 第 4 編5-12-2	共 第 4 編5-12-2 支持杭は全数、支持杭以外は20本に 1 本		打込記録を提出		様式・出来形8-2参照
	杭頭中心位置	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	10cm以下	
	杭天端高	レベルにより測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	杭の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数	1°	管理表を作成し提出	直杭 2°以下 斜杭 3°以下	

11. 本体工（コンクリート杭式）

11-1 コンクリート杭工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. コンクリート杭	打込記録	JIS A 7201 記録	支持杭は全数、支持杭以外は20本に1本		JIS A 7201 付表5 打込み工法記録を作成し提出		
	杭頭中心位置	トランシット、スチールテープ等により測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	10cm以下	
	杭天端高	レベルにより測定	打込完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	杭の傾斜	トランシット、下げ振り、傾斜計等により測定	打込完了時、全数	1°	管理表を作成し提出	直杭 2° 以下 斜杭 3° 以下	

12. 被覆・根固工

12-1 被覆石工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 被覆石 (均しを行わない面)	天端面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	特 による。	様式・出来形12-1参照
2. 被覆石均し	法 面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線間隔は10m以下、測点3点以上但し、マウンド厚2m以下の場合には2点以上	10cm	出来形図を作成し提出	± 50cm(法面に直角)異形ブロック据付面(整積)の高さ(法面に直角)± 30cm又は 特 による。	
	天端面	音響測深機、レッド又はレベル等により測定	測線及び測点間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	± 50cm又 特) による。 岸壁全面 +0、-20cm又は 特 による。	様式・出来形12-1参照
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 20cm	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 20cm	

12 - 2 被覆ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1.被覆ブロック製作	型枠形状寸法(異形ブロック)	観察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		
	ブロック外観(異形ブロック)	観察	10個に1個以上測定		観察結果を報告		
2.被覆ブロック据付	延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上(最上段のみ)	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

12 - 3 根固ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1.根固ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	様式・出来形12-3参照
	対角線	スチールテープ等により測定	10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出		
2.根固ブロック据付							12-2 2.被覆ブロック据付を適用する。

12 - 4 水中コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

12 - 5 水中不分離性コンクリート工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
水中不分離性コンクリート工							6-1場所打コンクリート工を適用する。

13. 上部工

13-1 上部コンクリート工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
イ) 防波堤	天端高又は厚さ	レベル等により測定	天端面は1スパン4箇所以上 パラベット頂部は1スパン2箇所以上	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は±2 cm 天端幅10mを超える場合は+5 cm - 2 cm	様式・出来形6-1参照 天端高さ又は厚さの管理項目の選定は特による。 注) 本体がケーソンの場合ケーソン質量 2,000t未満 ±20cm 2,000t以上 ±30cm
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	天端幅10m以下の場合は±3 cm 天端幅10mを超える場合は+5 cm - 3 cm	
	延長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	±5 cm 注) 又は特による	
ロ) 岸壁	天端高又は厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は特による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	1スパン3箇所	1 cm	測定表を作成し提出	±2 cm	
	延長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+規定しない - 0	
	法線に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	1スパン2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	±3 cm	
	防舷材ベッド	スチールテープ等により測定	スパン毎	1 cm	測定表を作成し提出		
ハ) 栈橋							13-1上部コンクリート工ロ)岸壁を適用する。 梁(高さ、幅)、床版厚は型枠検査による。

13-2 上部ブロック工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 上部ブロック製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出	幅 +2 cm, - 1 cm 高さ +2 cm, - 1 cm 長さ +2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数	1 cm	管理表を作成し提出		

13-2 上部ブロック工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
2. 上部ブロック据付							
イ) 防波堤							13-1上部コンクリート工 イ)防波堤を適用する。
ロ) 岸壁							13-1上部コンクリート工 ロ)岸壁を適用する。
ハ) 棧橋上部コンクリート							13-1上部コンクリート工 ハ) 棧橋を適用する。

14. 付属工

14-1 係船柱工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 係船柱	天端高	レベルにより測定	据付完了時、中心部、全数	1 cm	管理表を作成し提出	曲柱 ± 2 cm 直柱 ± 2 cm	様式・出来形14-1参照
	岸壁前面に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	据付完了時、全数	1 cm	管理表を作成し提出		
	中心間隔	スチールテープ等により測定	据付完了時、各スパン毎中心部、各基	1 cm	管理表を作成し提出		
	直柱基礎コンクリート(幅)	スチールテープ等により測定	完了時、全数、天端両端	1 cm	管理表を作成し提出		
	(長さ)	スチールテープ等により測定	完了時、全数、前後面	1 cm	管理表を作成し提出		
	(高さ)	レベルにより測定	完了時、全数、中心点	1 cm	管理表を作成し提出		

14-2 防舷材工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 防舷材	取付高さ	レベル又はスチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数	1 cm	管理表を作成し提出		様式・出来形14-2参照
	中心間隔	スチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数	1 cm	管理表を作成し提出		

14-3 車止・縁金物工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
車止・縁金物工	天端高	レベルにより測定	取付完了時、中心部、全数	1 cm	管理表を作成し提出	± 3 cm	様式・出来形14-3参照
	岸壁前面に対する出入	トランシット、スチールテープ等により測定	取付完了後中心部を1点	1 cm	管理表を作成し提出		

14 - 3 車止・縁金物工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
車止・縁金物工	取付間隔	スチールテープ等により測定	上部工 1 スパンに 2 箇所	1 cm	管理表を作成し提出		
	塗 装	目視による観察			観察結果を報告		
	警戒色 (シマ模様)	スチールテープ等により測定	完了時適宜		確認結果を報告		

14 - 4 防食工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 電気防食	取付位置	目視（承諾された図面より確認）潜水士による。	取付完了後、全数	特 による	確認結果を提出		様式・出来形14-4参照
	電位測定	測定機器による。	取付完了後、測定端子取付箇所毎	1 mV	測定表を作成し提出	飽和かんこう電極基準； - 770mV 海水塩化銀基準； - 780mV 又は飽和硫酸銅電極基準； - 850mV	
2. FRPモルタルライニング	取付高さ	レベルにより測定	取付完了後、上端高さ鋼管杭；全 数 矢板； 1 打設 3 箇所以上	1 0 cm	測定表を作成し提出		
3. ペトロラタムライニング 4. コンクリート被覆 5. 防食塗装	高さ	レベルにより測定	完了後、上端・下端高さ鋼管杭；全 数 矢板； 1 打設 3 箇所以上	"	測定表を作成し提出		

14 - 5 係船環工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
係船環	取付位置	スチールテープ等により測定	取付完了時、中心部、全数	1 cm	管理表を作成し提出		

15. 消波工

15 - 1 洗掘防止工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
洗掘防止工							3-2洗掘防止工を適用する。

15 - 2 消波ブロック工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 消波ブロック製作	型枠形状寸法（異形ブロック）	観 察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		外観的な空白がなく、配置及びかみ合わせが適切で孤立したものが無いよう、所定の個数をもって消波目的を果たすよう据え付ける。
	ブロック外観（異形ブロック）	観 察	全 数		観察結果を報告		
2. 消波ブロック据付	延長	スチールテープ等により測定	据付完了後、法線上（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	天端幅	スチールテープ等により測定	据付完了後、測線上（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出		
	天端高	レベル等により測定	据付完了後、測線上2箇所（最上段のみ）	1 cm	管理表を作成し提出		

16. 裏込・裏埋工

16 - 1 裏込工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 裏込材（均しを行わない面）	天端高	レベル、レッドにより測定	測線及び測点間隔は10m以下	陸上 1 cm 水中 10cm	出来形図を作成し提出	特 による。	
	法 面	レベル、レッドにより測定	測点は3点以上	10cm	出来形図を作成し提出	特 による。	
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	特 による。	
	延長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上	10cm	出来形図を作成し提出	特 による。	
2. 裏込均し	天端面	レベル、レッドにより測定	測線及び測点間隔は10m以下	陸上 1 cm 水中 10cm	出来形図を作成し提出	() ±5cm () ±20cm	均し区分は 特 による。
	法 面	レベル、レッドにより測定	測点は3点以上	10cm	出来形図を作成し提出	±20cm (法面に直角)	マット等を使用する場合を含む。
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
3. 吸出し防止材	敷設位置	スチールテープ、間縄等により測定	始、終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	特 による。	様式・出来形3-2参照 アスファルトマット、繊維系マット、合成樹脂系マット
	重ね幅	スチールテープ等により測定	1枚に2点	1 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	50cm以上（アスファルトマット・繊維系マット） 30cm以上（合成樹脂系マット）	
	延長	スチールテープ、間縄等により測定	マットの中心を区間毎及び全長	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	

16 - 2 裏埋工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
裏埋工	地盤高 (陸上部)	レベル等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	1 cm	平面図に実測値を 記入し提出	特 による。	変化点は測定する。
	(水中部)	レベル、レッド及び音 響測深機等により測定	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm	平面図に実測値を 記入し提出	特 による。	変化点は測定する。

16 - 3 裏埋土工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1.土砂掘削 2.土砂盛土	基準高	レベル等により測定	法肩、法尻及び中心を延 長20mに1箇所以上	1 cm	測定表を作成し提 出	特 による。	様式・出来形18-1参照
	幅	スチールテープ等によ り測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提 出	特 による。	
	法 長	スチールテープ等によ り測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提 出	特 による。	
	延 長	スチールテープ等によ り測定	両端及び中心	10cm	測定表を作成し提 出	特 による。	

17. 陸上地盤改良工

17 - 1 圧密・排水工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
圧密・排水工							2-4圧密・排水工を適用 する。

17 - 2 締固工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
締固工							2-5締固工を適用する。

17 - 3 固化工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
固化工							2-6固化工を適用する。

18. 土工

18-1 掘削工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 土砂掘削	基準高	レベル等により測定	法肩、法尻及び中心を延長20mに1箇所以上	1 cm	測定表を作成し提出	特 による。	様式・出来形18-1参照
	幅	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	法 長	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端及び中心	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	

18-2 盛土工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 土砂盛土	基準高	レベル等により測定	法肩、法尻及び中心を延長20mに1箇所以上	1 cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	幅	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	法 長	スチールテープ等により測定	延長20mに1箇所以上	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端及び中心	10cm	測定表を作成し提出	特 による。	

18-3 路床盛土工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 路床盛土	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm	
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

18-4 法面工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 法 面							18-1.1.土砂掘削、18-2.1.土砂盛土及び19-1植生工を適用する。

19. 植生工

19 - 1 植生工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 張 芝 2. 筋 芝	材料の使用数量	使用数量表等により確認	施工完了後		使用数量表等を作成し提出		
	長さ、幅（面積）	スチールテープ等により測定	施工完了後	10cm (0.1m ²)	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	植生状況	観 察	施工完了後、区域全体		観察結果を報告		
3. 播 種 4. 種子吹付	材料の使用数量	使用数量表等により確認	施工完了後		使用数量表等を作成し提出		
	長さ、幅（面積）	スチールテープ等により測定	施工完了後	10cm (0.1m ²)	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	植生状況	特 による。	特 による。		特 による。	特 による。	
5. 植 栽	材料の使用数量	使用数量表等により確認	搬入時、全数		使用数量表等を作成し提出		
	樹高、枝張り幅、幹周り	スチールテープ等により測定	種類毎、搬入後適宜	樹高、枝張り幅 10cm 幹周り 1cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	植付け状況	観 察	施工完了後、全本数		観察結果を報告		

20. 舗装工

20 - 1 コンクリート舗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 下層路盤	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 4 cm	様式・出来形20-1参照
	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000m ² に1箇所、道路舗装は 特 による。	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 4.5cm	
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

20 - 1 コンクリート舗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2 . 上層路盤	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000m ² に1箇所、道路舗装は 特 による。	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 2.5cm	
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
3 . コンクリート舗装版	厚 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 1 cm	コンクリート版の厚さ、その他を確認するため、監督職員が必要と認めたときは、コアを採取する。
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 2.5cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	平坦性	3 mプロフィルメータにより測定	各レーン毎全延長	1 mm	記録紙及び管理表を作成し提出	機械舗設の場合 2 mm以下 人力舗設の場合 3 mm以下	

20 - 2 アスファルト舗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 下層路盤	高 さ	レベル等により測定	舗装は中心及び両端部の3点を延長20mに1箇所、道路舗装は中心及び両端部の3点を延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm	
	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000m ² に1箇所、道路舗装は 特 による。	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 4.5cm	
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

20 - 2 アスファルト舗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2 . 上層路盤	厚 さ	レベル等により測定	舗装は1,000m ² に1箇所、道路舗装は 特 による。	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 3 cm	
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
3 . 基 層	厚 さ	抜き取りコアをスチールテープ等で測定	1,000m ² に1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 1.2cm	様式・出来形20-2参照
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 2.5cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
4 . 表 層	厚 さ	抜き取りコアをスチールテープ等で測定	1,000m ² に1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 9 mm	様式・出来形20-2参照
	幅	スチールテープ等により測定	舗装は延長20mに1箇所、道路舗装は延長40mに1箇所	1 mm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 2.5cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	
	平坦性	3 mプロフィルメータにより測定	各レーン毎全延長	1 mm	記録紙及び管理表を作成し提出	2.4mm以下	

21 . 維持補修工

21 - 1 維持塗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 係船柱塗装	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		確認結果を提出	特 による。	
2 . 車止塗装							
イ) 鋼 製	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		確認結果を提出	特 による。	
ロ) その他	塗装箇所	目視（承諾された図面より確認）	塗装完了後、全数		確認結果を提出	特 による。	
3 . 緑金物塗装							21-1 2.車止塗装を適用する。

21 - 2 防食工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
防食工							14-4防食工を適用する。

22 . 船揚場工

22 - 1 床掘工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . ポンプ床掘 2 . グラブ床掘 3 . 硬土盤床掘 4 . 砕岩床掘 5 . バックホウ床掘	水 深 (底面) (法面)						2-1床掘工を適用する。 2-1床掘工を適用する。

22 - 2 床掘土工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 土砂掘削							18-1 1.土砂掘削を適用する。
2 . 土砂盛土							18-2 1.土砂盛土を適用する。

22 - 3 基礎捨石工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 基礎捨石 (均しを行わない面)							3-3基礎捨石工を適用する。
2 . 捨石本均し							3-3基礎捨石工を適用する。
3 . 捨石荒均し							3-3基礎捨石工を適用する。

22 - 4 裏込工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 裏込均し	天端面	レベル、レッドにより測定	測線及び測点間隔は10m以下	1 cm	出来形図を作成し提出	() ± 5cm () ± 20cm	均し区分は 特 による。 マット等を使用する場合を含む。
	法 面	レベル、レッドにより測定	測点は3点以上	10cm	出来形図を作成し提出	± 20cm (法面に直角)	
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	天端中心上	10cm	出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 4 裏込工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2 . 吸出し防止材	敷設位置	スチールテープ、間縄等により測定	始、終端及び変化する箇所毎並びに20mに1箇所以上	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	特 による。	様式・出来形3-2参照 アスファルトマット、繊維系マット、合成樹脂系マット
	重ね幅	スチールテープ等により測定	1枚に2点	1 cm	測定表及び敷設図を作成し提出	50cm以上(アスファルトマット・繊維系マット) 30cm以上(合成樹脂系マット)	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	マットの中心を区間毎及び全長	10cm	測定表及び敷設図を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 5 被覆石工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 被覆石 (均しを行わない面)							12-1被覆石工を適用する。
2 . 被覆石均し							12-1被覆石工を適用する。

22 - 6 裏埋工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
裏埋工							16-2裏埋工を適用する。

22 - 7 裏埋土工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 土砂掘削							18-1 1.土砂掘削を適用する。
2 . 土砂盛土							18-2 1.土砂盛土を適用する。

22 - 8 基礎栗石工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1 . 基礎栗石均し	天端高	レベル又は 特 により測定	測線及び測点間隔は10m以下	1 cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	天端幅	スチールテープ、間縄等により測定	測線間隔は10m以下	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	
	延 長	スチールテープ、間縄等により測定	法線上	10cm	均し出来形図を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 9 先端止壁ブロック、張りブロック工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. ブロック製作	幅、高さ、長さ	スチールテープ等により測定	型枠取外し後10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm	様式・出来形12-3参照
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後全数10個に1個以上測定	1 cm	管理表を作成し提出		
2. ブロック据付	法線に対する出入（先端止壁の隣接ブロックとの間隔）	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき1箇所	1 cm	管理表を作成し提出	± 5 cm	
	隣接ブロックとの間隔	スチールテープ等により測定	据付後ブロック1個につき2箇所	1 cm	管理表を作成し提出	3 cm以下	
	延長	スチールテープ等により測定	両端2箇所（上段、下段）	1 cm	管理表を作成し提出	+ 規定しない - 0	先端止壁は1箇所
	天端高	レベル等により測定	据付後測線につき3箇所（下段、中断、上段）	1 cm	管理表を作成し提出	特 による	先端止壁は測線につき1箇所

22 - 10 中間止壁工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 止壁コンクリート	天端高又は厚さ	レベル、スチールテープ等により測定	測点毎に1箇所 測点間隔は10m以下	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	天端高又は厚さの管理項目の選定は 特 による。
	天端幅	スチールテープ等により測定	測点毎に1箇所 測点間隔は10m以下	1 cm	測定表を作成し提出	± 2 cm	
	延長	スチールテープ等により測定	法線上	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 11 コンクリート舗装工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 路盤工	高さ	レベル等により測定	中心及び両端部の3点を延長20m又は測点毎に1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	± 4 cm	様式・出来形20-1参照
	厚さ	レベル等により測定	延長20m又は測点毎に1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 4.5cm	
	幅	スチールテープ等により測定	延長20m又は測点毎に1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
	延長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 11 コンクリート舗装工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2. コンクリート舗装工	厚 さ	レベル等により測定	中心及び両端部の3点を延長20m又は測点毎に1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 1 cm	コンクリート版の厚さ、その他を確認するため、監督職員が必要と認めたときは、コアを採取する。
	幅	スチールテープ等により測定	延長20m又は測点毎に1箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 2.5cm	
	延 長	スチールテープ等により測定	両端2箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 0	

22 - 12 滑り材取付工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 滑り材	取付間隔	スチールテープ等により測定	取付完了時、適宜	1 cm	管理表を作成し提出	特 による	

23. 魚礁工

23 - 1 単体魚礁製作工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 単体魚礁製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	型枠取外し後10基に1基以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 2 cm, - 1 cm 高さ + 2 cm, - 1 cm 長さ + 2 cm, - 1 cm 壁厚 ± 1 cm	様式・出来形23-1参照
	対角線	スチールテープ等により測定	型枠取外し後10基に1基以上測定	1 cm	管理表を作成し提出		
	型枠形状寸法	観 察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		
	ブロック外観	観 察	全 数		観察結果を報告		

23 - 2 組立魚礁組立工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. コンクリート部材組立	幅、高さ、長さ	スチールテープ等により測定	10基に1基以上測定	1 mm	管理表を作成し提出	幅、高さ、長さ + 10 mm × 部材連数	様式・出来形23-2参照
	ボルトの取付け	観 察	全箇所		観察結果を報告		
2. 鋼製部材組立	幅、高さ、長さ	スチールテープ等により測定	10基に1基以上測定	1 mm	管理表を作成し提出	幅 + 30mm, - 10mm 高さ + 30mm, - 10mm 長さ + 30mm, - 10mm	
	のど厚、脚長、溶接長	スチールテープ、ノギス、溶接ゲージ等により測定	特 による。	1 mm	測定表を作成し提出	特 による。	
	有害な欠陥の有無	観 察	全 数		観察結果を報告		
	溶接部非破壊試験	JIS Z 3104放射線透過試験の他、特 によりカラーチェック	特 による。 特 による。		写真又はフィルムを提出 写真を提出	特 による。 特 による。	
3. 化学系（FRP）部材組立	幅、高さ、長さ	スチールテープ等により測定	10基に1基以上測定	1 mm	管理表を作成し提出	特 による。	様式・出来形23-2参照
	接続帯の取付け	観 察	接続終了後、全箇所		観察結果を報告	特 による。	

23 - 2 組立魚礁組立工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
4. 重錘コンクリート製作	幅、高さ、長さ、壁厚	スチールテープ等により測定	10基に1基以上測定	1 cm	管理表を作成し提出	幅 + 3 cm, - 1 cm 高さ + 3 cm, - 1 cm 長さ + 3 cm, - 1 cm	

23 - 3 魚礁沈設工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 魚礁沈設	位置 集中配置 (乱積配 置)	G P S 及び D - G P S 等により測定	魚礁沈設時に10基に1基 以上測定	緯度経度 公共座標	管理表を作成し提 出	配置中心点: ±30m その他は 特 に よる。	様式・出来形23-3参照
	位置 ゾーン配置	G P S 及び D - G P S 等により測定	魚礁沈設時に10基に1基 以上測定	緯度経度 公共座標	管理表を作成し提 出	ゾーン内	
	位置 計画配置 (相対配 置)	G P S 及び D - G P S 等により測定	魚礁沈設時に全基測定	緯度経度 公共座標	管理表を作成し提 出	±30m	
	高さ	音響測深器等により測 定	集中配置、ゾーン配置は 中心点から8方位を測定 計画配置は 特 によ る。	1 0 c m	出来形図を作成 し、記録紙にも寸 法を表示し提出	集中配置： + 規定しない - 0 (Hは魚礁1基の 高さ) ゾーン配置、計画 配置：重ならない こと、その他は 特 による。	集中配置：最高部の許容 範囲
長さ、幅	音響測深器等により測 定	集中配置、ゾーン配置は 中心点から8方位を測定 計画配置は 特 によ る。	1 0 c m	出来形図を作成 し、記録紙にも寸 法を表示し提出	特 による。		

24. 着定基質工

24 - 1 着定基質製作工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 着定基質製作	型枠形状寸 法 (異形ブ ロック)	観 察	型枠搬入後適宜		観察結果を報告		魚礁タイプは、23.魚礁 工を適用する。
	ブロック外 観 (異形ブ ロック)	観 察	全 数		観察結果を報告		

24 - 2 着定基質組立工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 着定基質組立							23-2 組立魚礁組立工を適用する。

24 - 3 着定基質設置工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 着定基質設置	位置 計画配置 (相対配置)	G P S 及び D - G P S 等により測定	着定基質設置時に全基測定	緯度経度 公共座標	管理表を作成し提出	± 30m	様式・出来形23-3(計画配置)参照
	長さ、幅	音響測深器等により測定	特 による。	1 0 c m	出来形図を作成し、記録紙にも寸法を表示し提出	特 による。	

24 - 4 石材投入工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 石材投入	投入位置	G P S 及び D - G P S 等により測定	特 による。	緯度経度 公共座標	管理表を作成し提出	± 30m	捨石マウンドタイプは、3-3 基礎捨石工を適用する。 様式・出来形24-4参照 様式・出来形24-4参照
	長さ、幅	音響測深器等により測定	各 3 測線以上	1 0 c m	出来形図を作成し、記録紙にも寸法を表示し提出	特 による。	

25 . 構造物撤去工

25 - 1 取壊し工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. コンクリート取壊し	外 観	目視による観察	全 数		観察結果を報告		

25 - 2 撤去工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 水中コンクリート撤去	幅、高さ、延長	トランシット、ステールテープ等により測定	特 による。	特 による。	管理表を作成し提出	特 による。	
	外 観	潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		

25 - 2 撤去工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
2. 鋼矢板等切断撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数	1 mm	測定表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		
3. 腹起・タイ材撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数	特 による。	測定表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		
4. 舗装版撤去	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	特 による。	特 による。	管理表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視による観察	全 数		観察結果を報告		
5. 石材撤去	幅、高さ、延長	トランシット、スチールテープ等により測定	特 による。	特 による。	管理表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		
6. ケーソン撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数	特 による。	測定表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		
7. ブロック撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数	特 による。	測定表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		
8. 鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去	形状寸法	スチールテープ等により測定	全 数	1 mm	測定表を作成し提出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水土による観察	全 数		観察結果を報告		

26. 仮設工

26 - 1 仮設鋼矢板工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 仮設鋼矢板・H形鋼杭							8-1 2. 鋼矢板 ㊴)鋼矢板を適用する。

26 - 2 仮設鋼管杭・鋼管矢板工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 先行掘削							8-1 1. 先行掘削を適用する。
2. 仮設鋼管杭・鋼管矢板工							8-1 2. 鋼矢板式 ㊵)鋼管矢板及び10-1 2. 鋼杭を適用する。

26 - 3 仮設道路工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 仮設道路工							20-1コンクリート舗装工及び20-2アスファルト舗装工を適用する。

27. 雑 工

27 - 1 現場鋼材溶接工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 現場鋼材溶接	形状寸法 (のど厚、 脚長、溶接 長等)	スチールテープ、ノギ ス、溶接ゲージ等によ り測定	適 宜	1 mm	測定表を作成し提 出	特 による。	様式・出来形27-1参照
	ひずみ	目視による観察	全 数		観察結果を報告		
	有害な欠陥 の有 無	目視による観察	適 宜		観察結果を報告		
2. 被覆溶接(水中)	形状寸法 (のど厚、 脚長、溶接 長等)	スチールテープ、ノギ ス、溶接ゲージ等によ り測定	適 宜	1 mm 溶接長は1 cm	測定表を作成し提 出	特 による。	
	外 観	潜水士による観察	全 数		観察結果を報告		
3. スタッド溶接 (水中)							24-1 2. 被覆溶接(水 中)を適用する。

27 - 2 現場鋼材切断工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 現場鋼材切断 イ) 陸上現場切断	形状寸法	スチールテープ等によ り測定	全 数	1 mm	測定表を作成し提 出	特 による。	
	外 観	目視による観察	全 数		観察結果を報告		
ロ) 水中切断	形状寸法	スチールテープ等によ り測定	全 数	1 mm	測定表を作成し提 出	特 による。	
	外 観	目視又は潜水士による 観察	全 数		観察結果を報告		

27 - 3 その他雑工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 清掃	幅、長さ、延長	スチールテープ等により測定	全数	1 mm	測定表を作成し提出	特による。	
	外観	目視又は潜水士による観察	全数		観察結果を報告		
2. 削孔	形状寸法	スチールテープ等により測定	全数	1 mm	測定表を作成し提出	特による。	
	外観	目視又は潜水士による観察	全数		観察結果を報告		

28. 埋立工

28 - 1 固化工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
固化工							2-6固化工を適用する。

28 - 2 埋立土工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
1. 土砂掘削							18-1 1.土砂掘削を適用する。
2. 土砂盛土							18-2 1.土砂盛土を適用する。

29. 道路舗装工

29 - 1 コンクリート舗装工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
コンクリート舗装工							20-1コンクリート舗装工を適用する。

29 - 2 アスファルト舗装工

工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備考
アスファルト舗装工							20-2アスファルト舗装工を適用する。

29 - 3 道路付属工

工 種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理方法	許容範囲	備 考
1. 縁 石	高 さ	レベルにより測定	監督職員の指示による。	1 cm	測定表を作成し提出	± 3 cm	
	総延長	スチールテープ等により測定	図面に記載する箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 5 cm	
2. 区画線及び道路標示	幅	スチールテープ等により測定	監督職員の指示による。	1 cm	測定表を作成し提出	± 1 cm	
	長 さ	スチールテープ等により測定	監督職員の指示による。	1 cm	測定表を作成し提出	± 10cm	
3. 道路標識	高 さ	スチールテープ等により測定	1箇所1回	1 cm	測定表を作成し提出	± 5 cm	
4. 防護柵	高 さ	スチールテープ等により測定	監督職員の指示による。	1 cm	測定表を作成し提出	+ 3 cm - 2 cm	
	総延長	スチールテープ等により測定	図面に記載する箇所	1 cm	測定表を作成し提出	+ 規定しない - 10cm	

浚渫出來形管理表

現場代理人

工事名:

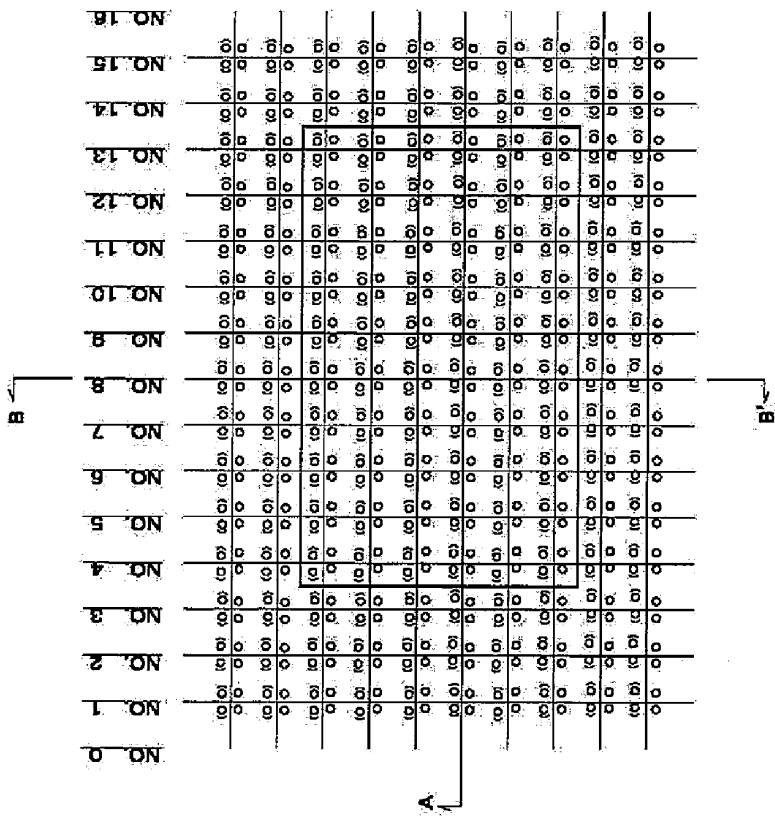
測点NO. 距離NO.	NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		NO. 00		
	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	設計値	測定値	
+00.0m		15.20																	
	測定値	15.30																	
	差	-0.10																	
+00.0m																			
	設計値																		
	測定値																		
	差																		
+00.0m																			
	設計値																		
	測定値																		
	差																		
+00.0m																			
	設計値																		
	測定値																		
	差																		
+00.0m																			
	設計値																		
	測定値																		
	差																		
+00.0m																			
	設計値																		
	測定値																		
	差																		

工事名:

浚渫出来形管理図

様式・出来形 1-1-(2)

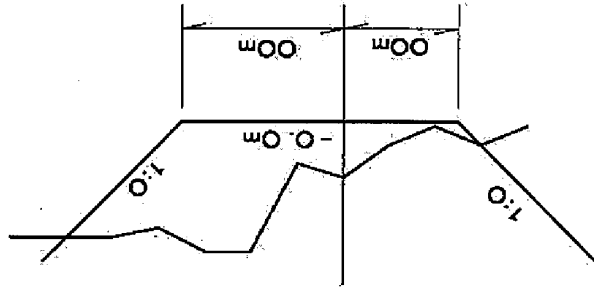
深淺圖



港内側

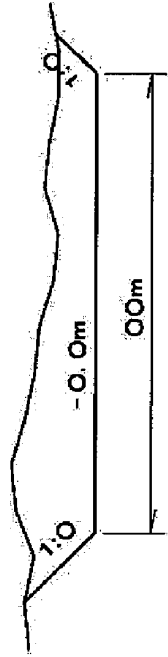
港外側

圖幅: 1:100



凡例
() : 設計値
実数 : 実測値

A-A' 断面



樣式・出來形2-3

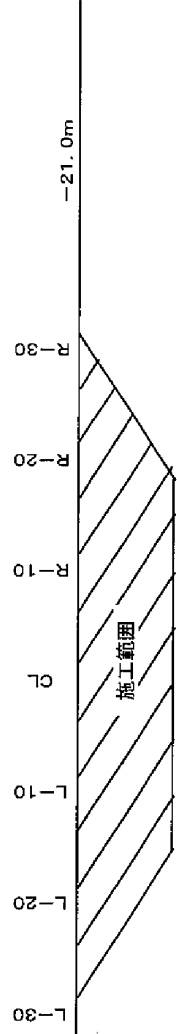
平成 年 月 日

置換材出來形管理表

現場代理人

工事名:

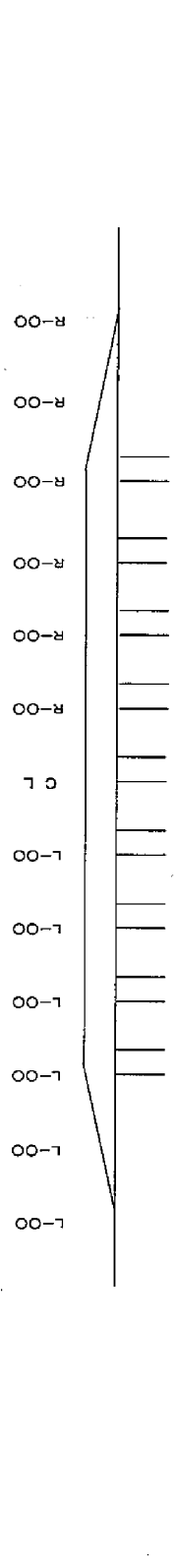
測点	種別	大 端 高						天 端 幅		延					
		L-30m	L-20m	L-10m	CL	R-10m	R-20m	R-30m	港外側	港内側	法線上	港内側			
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00+0.00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00+0.00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00+0.00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														
NO. 00	設計値														
	測定値														



敷砂出来形管理表

様式: 出表形2-4(1)
平成 年 月 日

測点	種別	天端							大端		堤						
		L-50m	L-40m	L-30m	L-20m	L-10m	Cl	R-10	R-20	R-30	R-40	R-50	港外法面	天路港外	天路港内	港内側	
NO. 00	設計値 測定値 差												NO. 00				NO. 00
NO. 00+O. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00+O. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00+O. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00
NO. 00	設計値 測定値 差																NO. 00



工事名:

敷砂出来形管理図

様式・出来形 2-4(2)

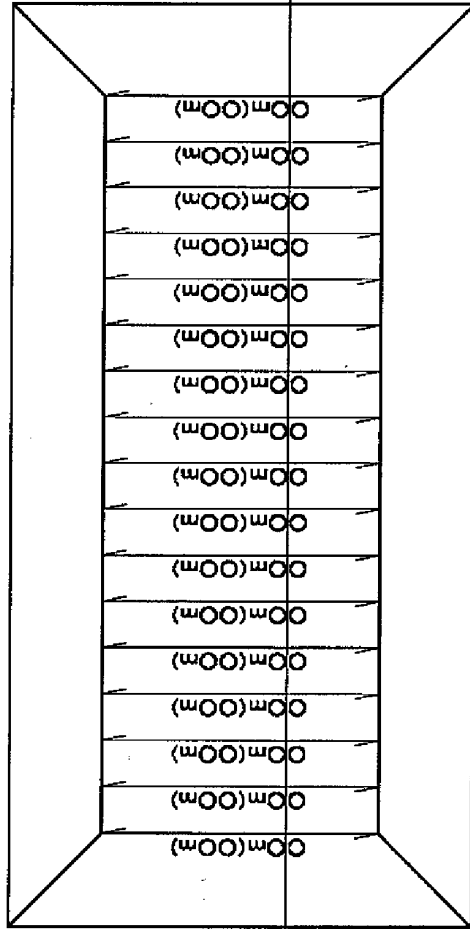
敷砂 平面図

- NO. 0
- NO. 1
- NO. 2
- NO. 3
- NO. 4
- NO. 5
- NO. 5
- NO. 7
- NO. 8
- NO. 8
- NO. 9
- NO. 10
- NO. 11
- NO. 12
- NO. 13
- NO. 14
- NO. 15
- NO. 16
- NO. 17
- NO. 18
- NO. 19
- NO. 20

港内側天端延長 00.0 (00.0)

法線上天端延長 00.0 (00.0)

港内側



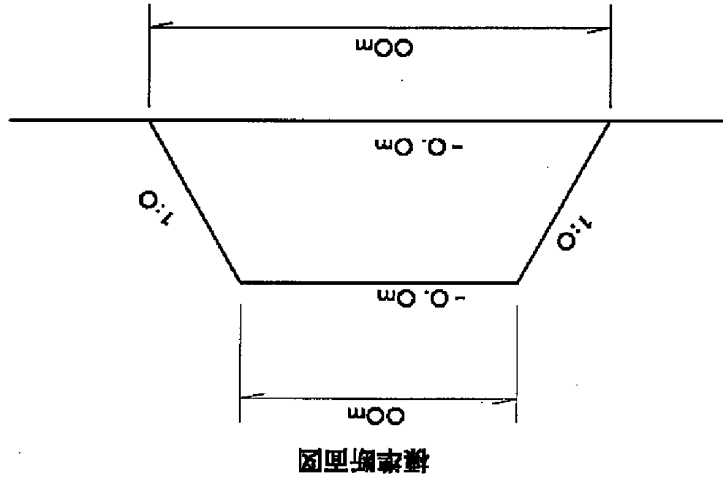
港外側

港外側天端延長 00.0 (00.0)

-0.0m

-0.0m

00m



標準断面図

凡 例
 ():設計値
 実数:実測値

サンドコンパクションパイル出来形管理表

現場代理人

工事名:

杭列	杭番号		1		2		3		4		5	
	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長
A列杭	設計値											
	測定値											
	差											
	設計値											
	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量
	測定値											
	差											

杭列	杭番号		1		2		3		4		5	
	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長
B列杭	設計値											
	測定値											
	差											
	設計値											
	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量
	測定値											
	差											

杭列	杭番号		1		2		3		4		5	
	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長
O列杭	設計値											
	測定値											
	差											
	設計値											
	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量
	測定値											
	差											

杭列	杭番号		1		2		3		4		5	
	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長	天端高	先端深度	杭長
O列杭	設計値											
	測定値											
	差											
	設計値											
	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量	変位量X	変位量Y	偏心量
	測定値											
	差											

砂投入管理表

工事名:

現場代理人

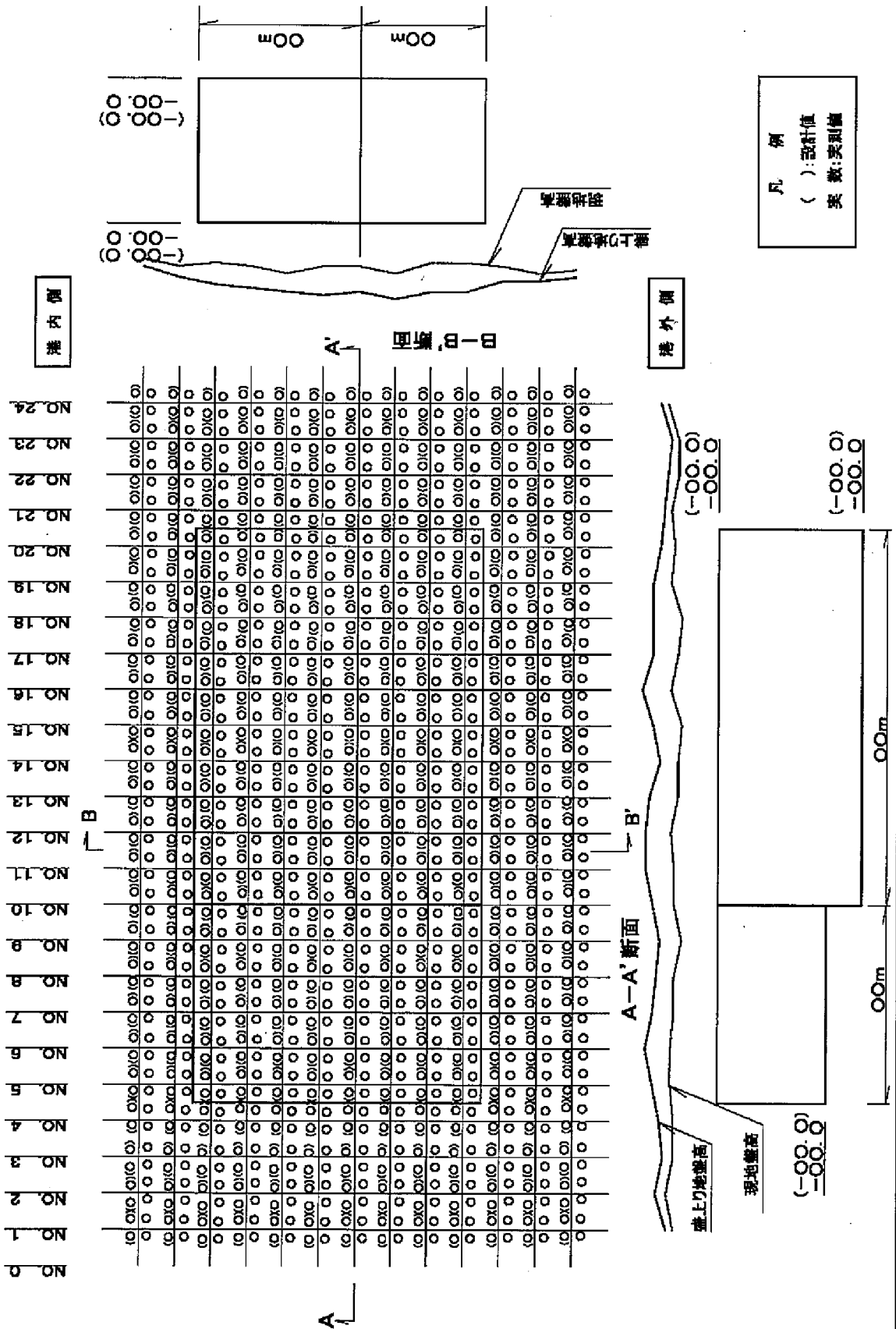
打設棟NO	SCP部			SD部			全砂量		
	設計 打設長	打設量	打設量 打設長	設計 打設長	打設量	打設量 打設長	設計 打設長	打設量	打設量 打設長
A-1									
A-2									
0-0									
0-0									
0-0									
0-0									
0-0									
計									

工事名:

縮固工 深淺図

平面図

模式・出来形 2-5(3)



洗掘防止マット出来形管理表

工事名:

現場代理人

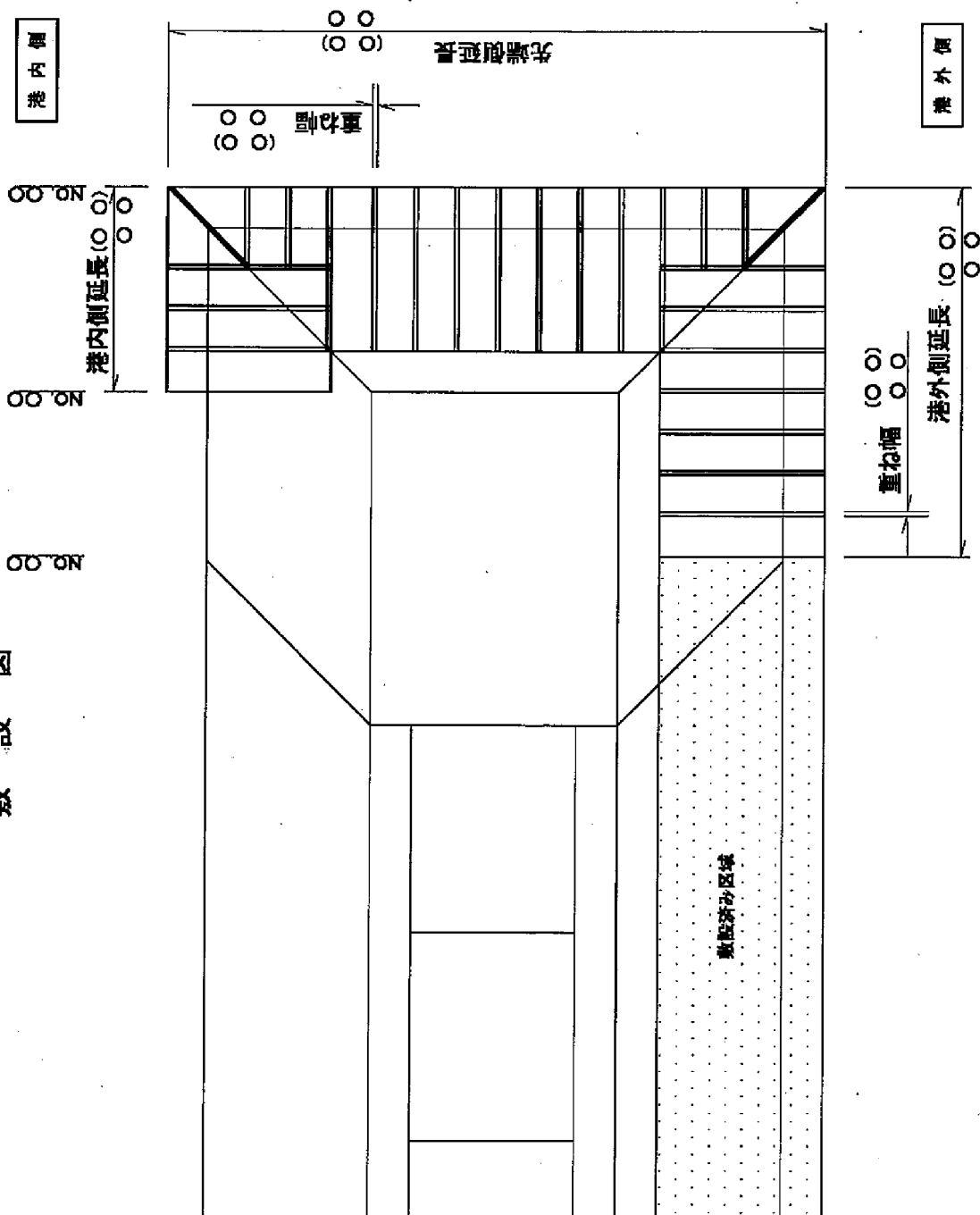
マットNO.	敷設位置	敷設月日	測定値		延長	備考
			重ね幅	敷設幅		
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						
設計値						
実測値						
差						

工事名:

洗掘防止マット出来形管理図

様式:出来形 3-2(2)

敷設図

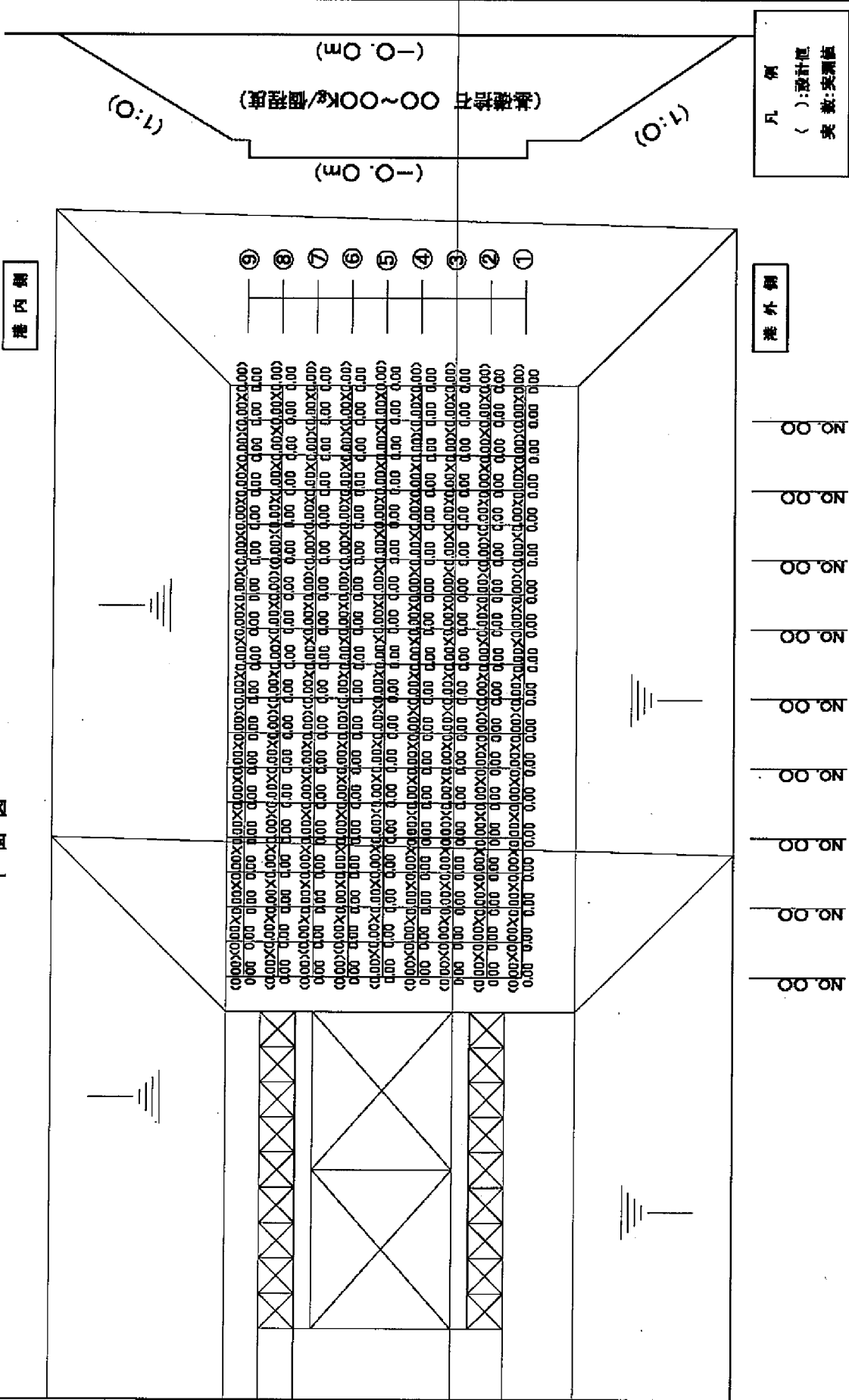


工事名:

基礎石均し出来形管理図(1)

様式・出来形 3-3(1)

平面図



凡例
():設計値
実数:実測値

港外側

港内側

工事名:

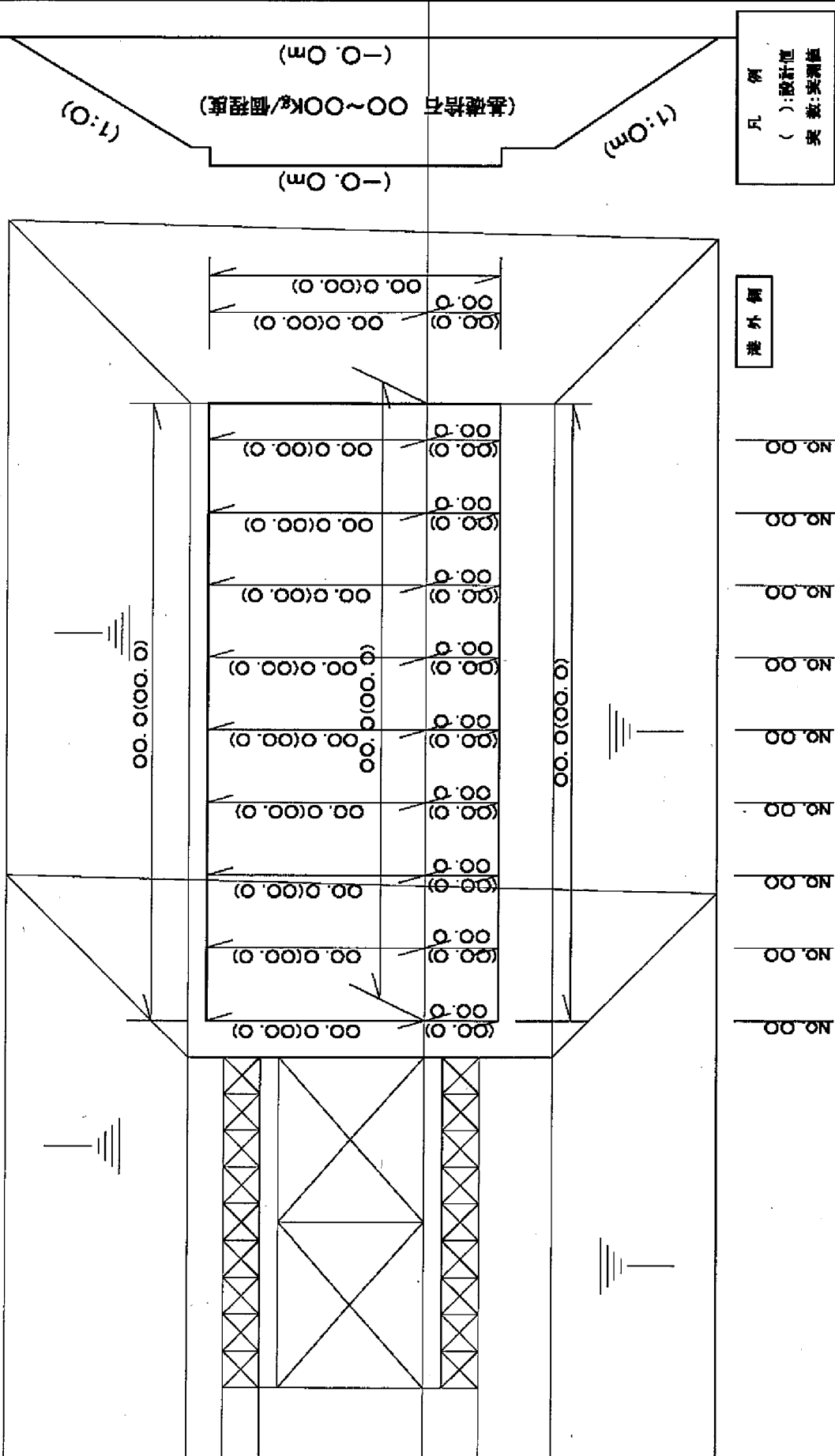
基礎石均し出来形管理図(2)

様式・出来形 3-3(2)

平面図

港内側

港外側



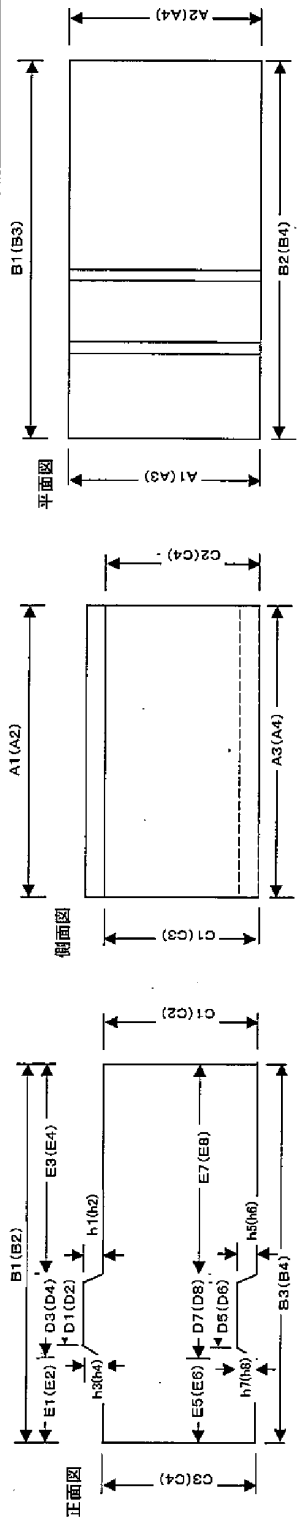
凡例
 (): 設計値
 実数: 実測値

ブロック(方塊)製作出来形管理表

現場代理人

工事名:

製作番号	長さ				高さ				凸部幅				凹部幅				突起よりの距離				対角線											
	上側	下側	上側	下側	左側	右側	左側	右側	上側	下側	左側	右側	上側	下側	左側	右側	上側	下側	左側	右側	E8	T2										
	B1	B2	B3	B4	A1	A2	A3	A4	C1	C2	C3	C4	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	T1	T2		
設計値																																
実測値																																
公差																																

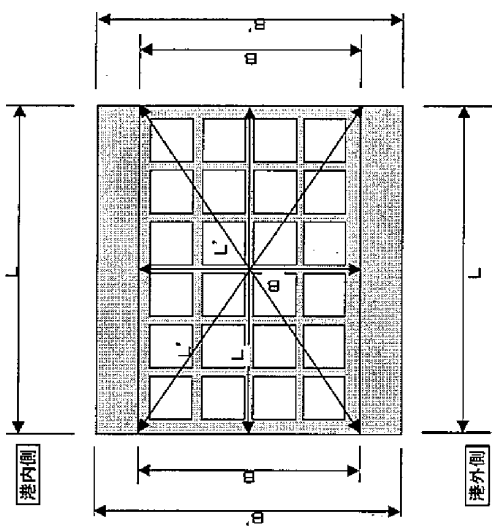
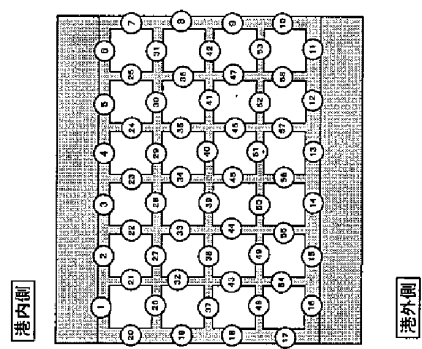
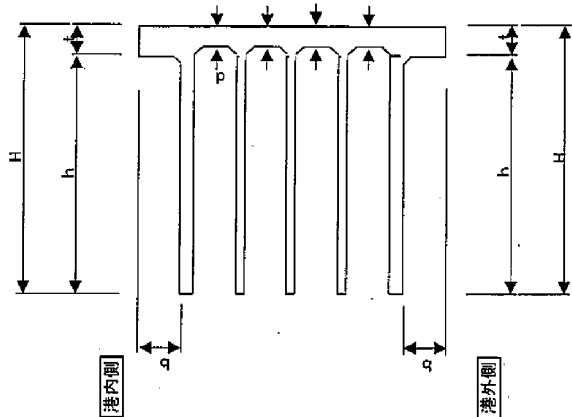


ケーソン製作出来形管理表

工事名:

現場代理人

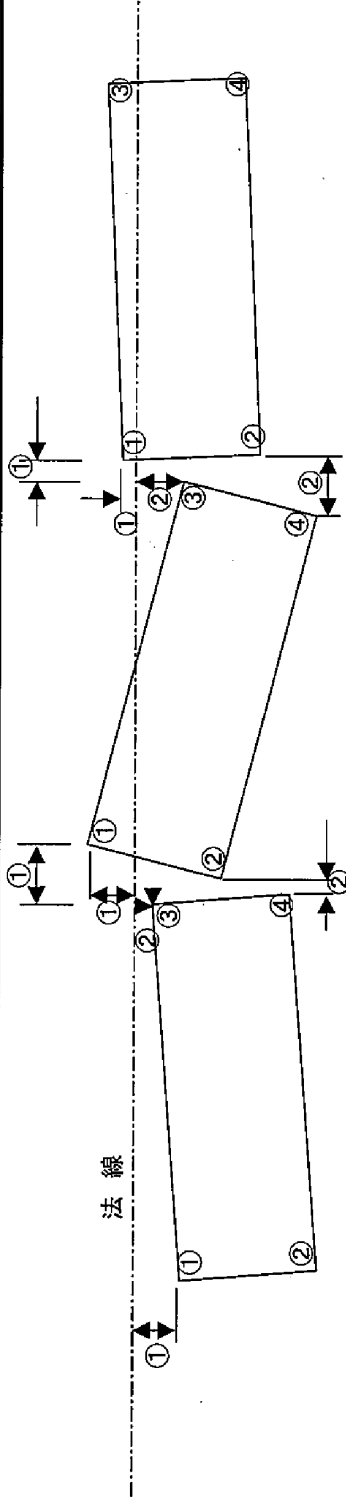
区別	区目	規格	数量	箇所	測定値	検査値	差	箇所	測定値	検査値	差	箇所	測定値	検査値	差
	測定項目														
	<壁厚>		±00												
	傾壁=00														
	隔壁=00														
	<寸法>		+00												
	B=00														
	L=00														
	b=00														
	l=00														
	<底版厚>		+00												
	d=00														
	<延長>		+00												
	L=00														
	<幅>		+00												
	b=00														
	<対角>		±00												
	L=00														
	<高さ>		+00												
	H=00														



ケーソン据付出来形管理表

工事名: _____ 現場代理人 _____

ケーソン 番号	法線に対する出入り		掘付目地間隙		天端高さ				
	測定位置	測定日	設計値	実測値	測定位置	測定日	設計値	実測値	差
NO. 1					①				
					②				
					③				
					④				



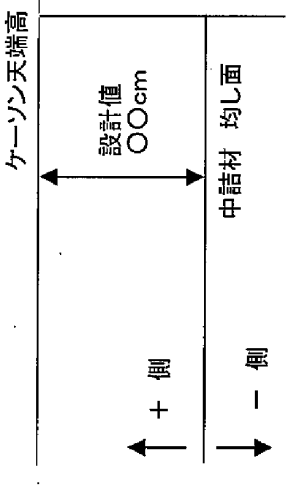
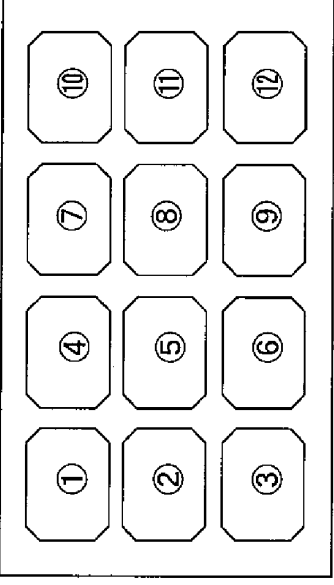
砂・石材中詰出来形管理表

平成 年 月 日

工事名: _____

現場代理人

測定位置	ケーソン天端からの値		測定位置	ケーソン天端からの値	
	実測値	設計値		実測値	設計値
①					
②					
③					
④					



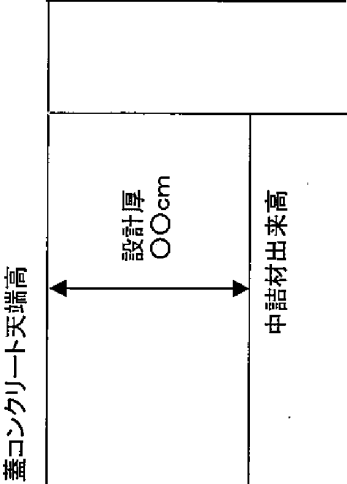
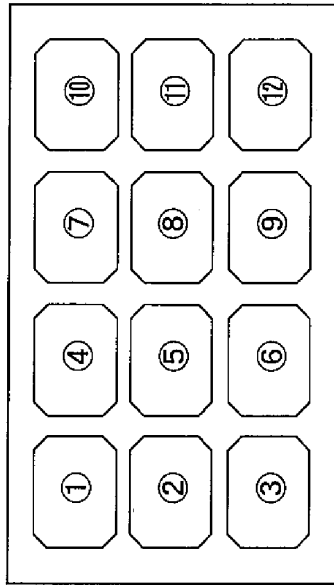
蓋コンクリート出来形管理表

現場代理人

工事名: _____

平成 年 月 日

測定位置	ケーン天端からの値		測定位置	ケーン天端からの値	
	実測値	設計値		実測値	設計値
①					
②					
③					
④					

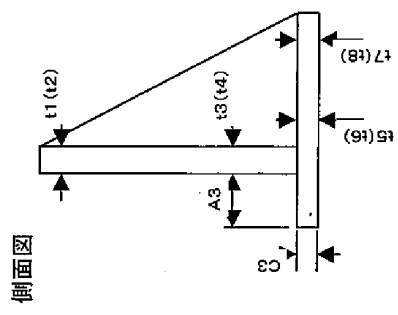
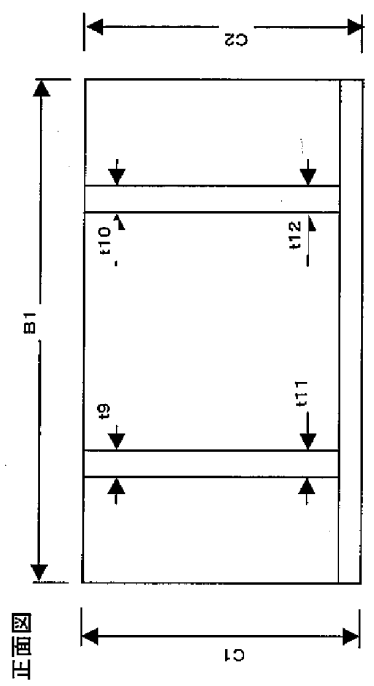
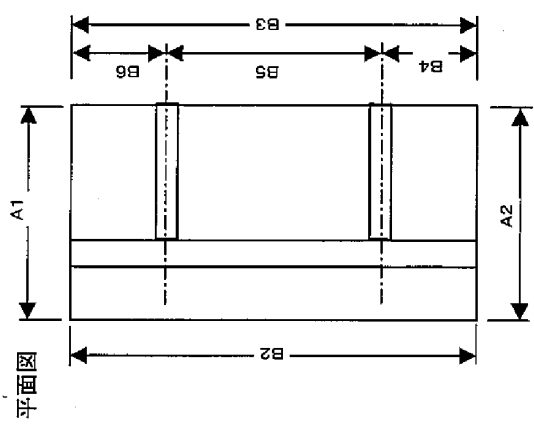


現場代理人

L型ブロック製作出来形管理表

工事名:

製作番号	幅			長さ						高さ			各 部 材 厚 さ												
	A1	A2	A3	B1	B2	B3	B4	B5	B6	C1	C2	C3	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	t9	t10	t11	t12	
設計値																									
実測値																									
差																									



セルラーブロック製作出來形管理表

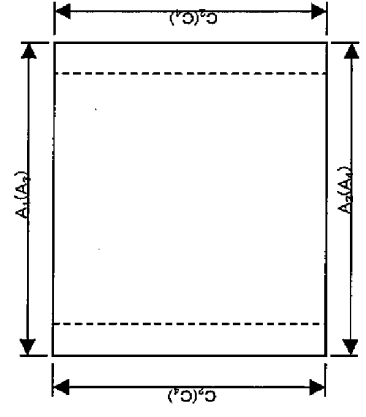
様式・出來形5-1(2)
平成 年 月 日

工事名: _____

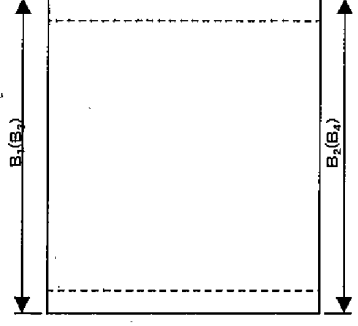
現場代理人

製作番号	幅								長さ								高さ								対角線	
	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	t1	t2	t3	t4	t5	t6	t7	t8	Q1	Q2				
	設計値		実測値		差																					

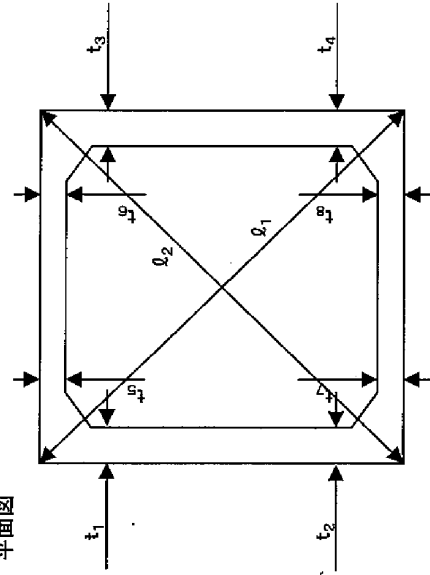
側面図



正面図



平面図



ブロック製作等 外見チェックリスト

工事名: _____
現場代理人

チエック項目	
製作番号(ブロックNO)	
製作日	
検査日	
大きな気泡はないか	
ひびわれはないか	
ジャンカはないか	
ワイヤー傷はないか	
ブロックのカケはないか	
泥などの付着はないか	
ナンバリングに誤記はないか	
その他	
総 評	
	略

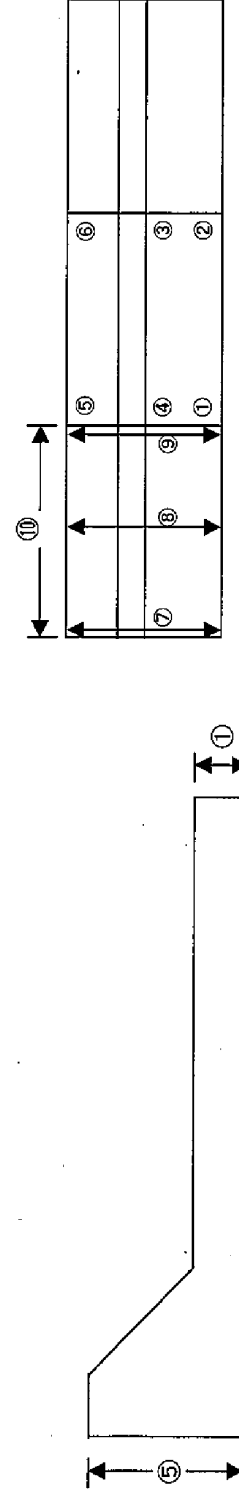
様式・出来形6-1(1)
平成 年 月 日

上部コンクリート(防波堤)出来形管理表

現場代理人 _____

工事名: _____

ケーソン等 NO.	測定月日	天 端 高 (厚 さ)			天 端 幅			延 長			法線に対する出入り						
		測点	設計値	測定値	差	測点	設計値	測定値	差	測点	設計値	測定値	差	測点	設計値	測定値	差
		①															
		②															
		③															
		④															
		⑤															
		⑥															
		⑦															
		⑧															
		⑨															
		⑩															



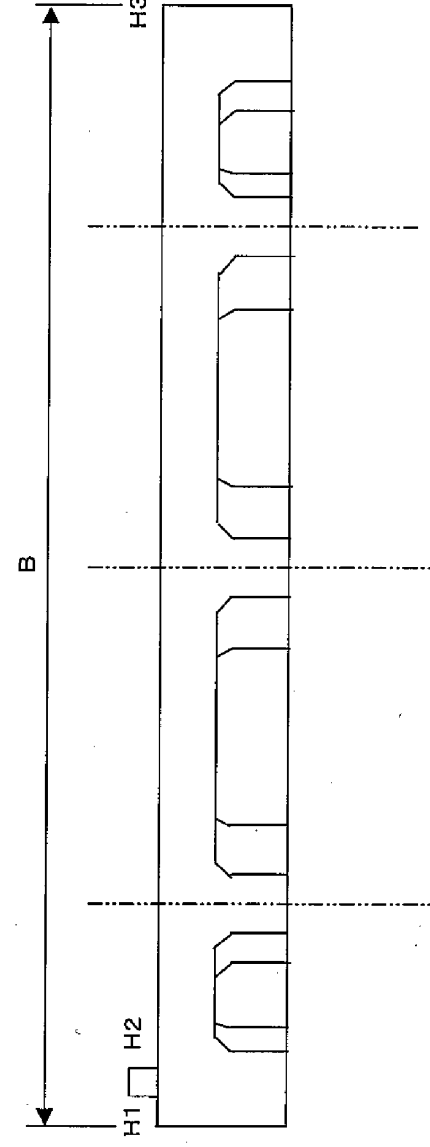
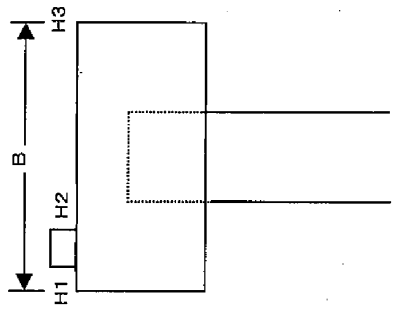
様式・出来形 6-1(2)
平成 年 月 日

上部コンクリート(岸壁)出来形管理表

現場代理人

工事名:

測点	H1		H2		H3		B		L		法線に対する 出入り	
	設計値	実測値	設計値	実測値	設計値	実測値	設計値	実測値	設計値	実測値	設計値	実測値
	差	差	差	差	差	差	差	差	差	差	差	差



様式・出来形8-2(1)

平成 年 月 日

鋼杭打込記録

工事名:

現場代理人

打設年月日 杭番号	外径 杭長 板厚 メーカー 打込み時間	杭打機名称 型式 全重量	ラム重量	50cmごとの打撃回数 (回)	標高 (m)	50cmごとの打撃回数 (回)	累計打撃回数 (回)	50cmごとの平均貫入量 (cm)	リバウンド量 (cm)	ラム落下高 (m)	摘要
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"> <p>設計値 実測値</p> <p>天端高(m)</p> <p>先端深さ(m)</p> <p>地盤高(m)</p> <p>根入長(m)</p> <p>総打撃回数</p> <p>最終貫入量(S)</p> <p>リバウンド量(K)</p> <p>設計値 実測値</p> </div> <div style="width: 60%;"> <p>Ru = ef x 2WH S + 1/2K ef:ハンマーの効率=0.5 H:ハンマーの落下高(m) W:ハンマーの重量(kN)</p> </div> </div>											

鋼杭出来形管理表

現場代理人

工事名:

番号	長さ (m)	打設年月	杭頭中心位置 (m)				杭頭天端高 (m)		杭先端高 (m)		杭の傾斜 (度)		備考				
			設計値 法線直角 方向	設計値 法線平行 方向	実測値 法線直角 方向	実測値 法線平行 方向	設計値 差	実測値	設計値	実測値	設計値	実測値		設計値	実測値	差	

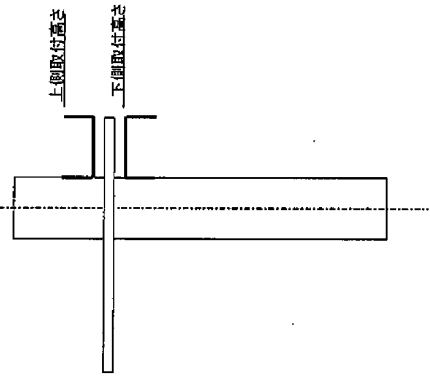
腹起出来形管理表

現場代理人

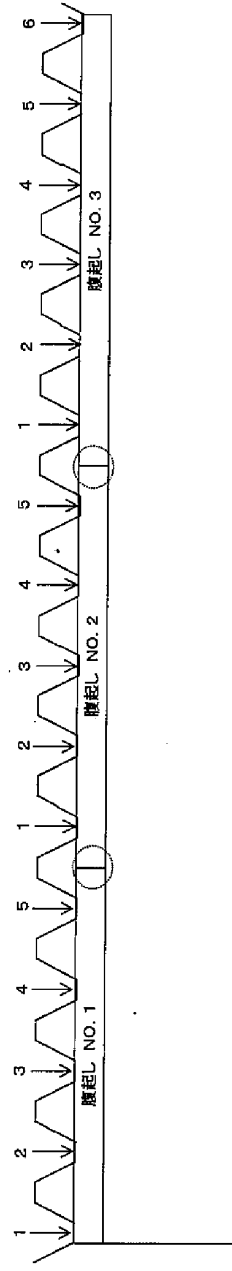
測点	種別		取付高さ		取付長さ	継手の状況	ボルトの取付状況	矢板との密着状況	備考
	始点側	終点側	上側	下側					
NO. 1	設計値								
	測定値								
	差								
	設計値								
	測定値								
	差								
NO. 2	設計値								
	測定値								
	差								
	設計値								
	測定値								
	差								
NO. 3	設計値								
	測定値								
	差								
	設計値								
	測定値								
	差								

測点	種別		取付高さ		取付長さ	継手の状況
	始点側	終点側	上側	下側		
NO. 1	設計値					
	測定値					
	差					
	設計値					
	測定値					
	差					
NO. 2	設計値					
	測定値					
	差					
	設計値					
	測定値					
	差					
NO. 3	設計値					
	測定値					
	差					
	設計値					
	測定値					
	差					

断面図



平面図



工事名: _____

タイ材出来形管理表

様式: 出来形B-2(4)

平成 年 月 日

現場代理人 _____

海側矢板(抗)部

陸側控矢板(抗)部

取付番号	取付高さ	水平度	支保材の 突端高	矢板法線に対する 取付角度	矢板法線に対する 取付間隔	定着ナットの締付け
NO. 1						
NO. 2						
NO. O						
NO. O						
NO. O						
NO. O						
NO. O						

取付番号	取付高さ	水平度	支保材の 突端高	矢板法線に対する 取付角度	矢板法線に対する 取付間隔	定着ナットの締付け
NO. 1						
NO. 2						
NO. O						
NO. O						
NO. O						
NO. O						

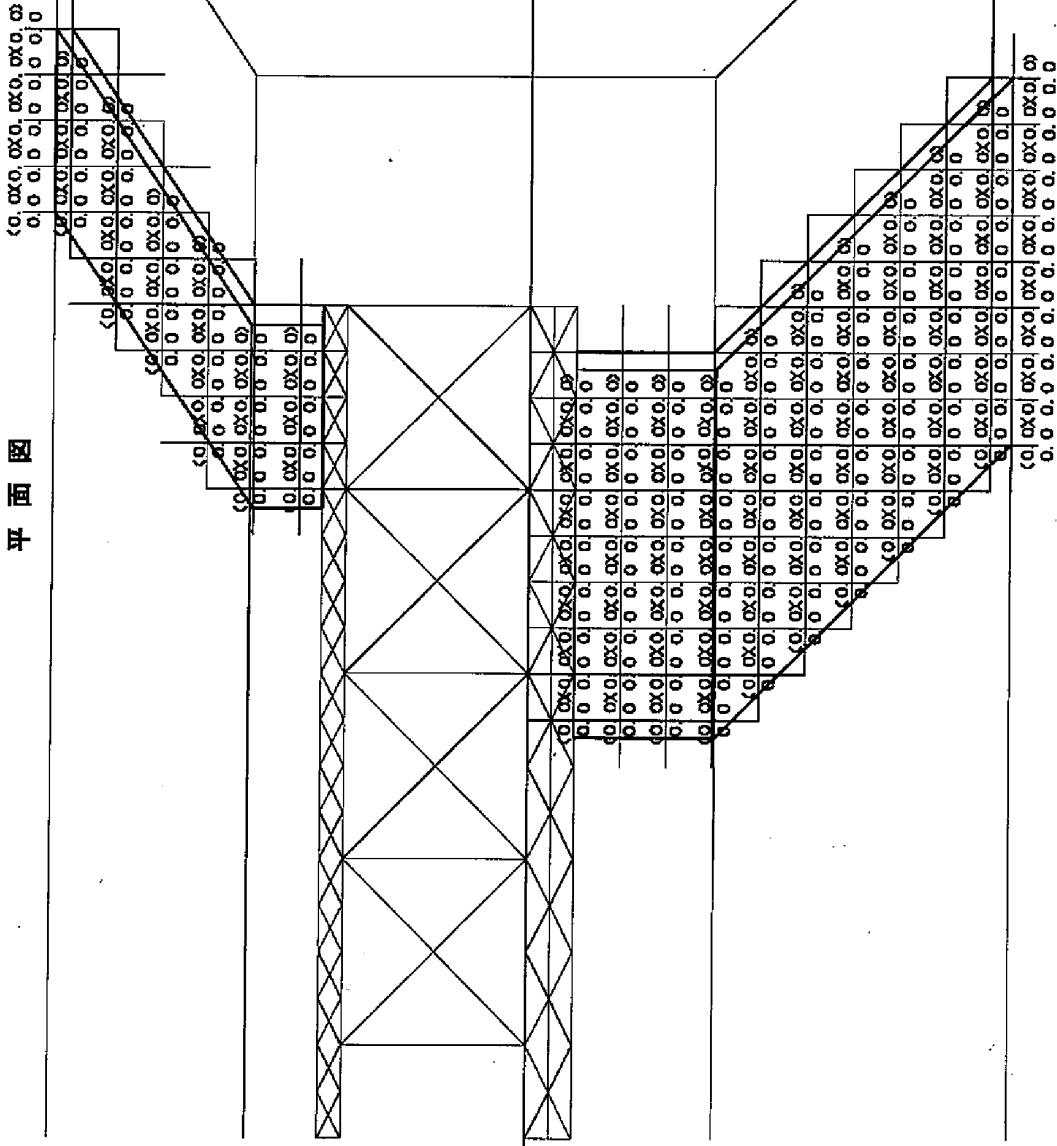
工事名: _____

被覆石均し出来形管理図(1)

様式・出来形 12-1(1)

平面図

港内側



港外側

凡例
 ():設計値
 実数:実測値

No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00	No.00
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

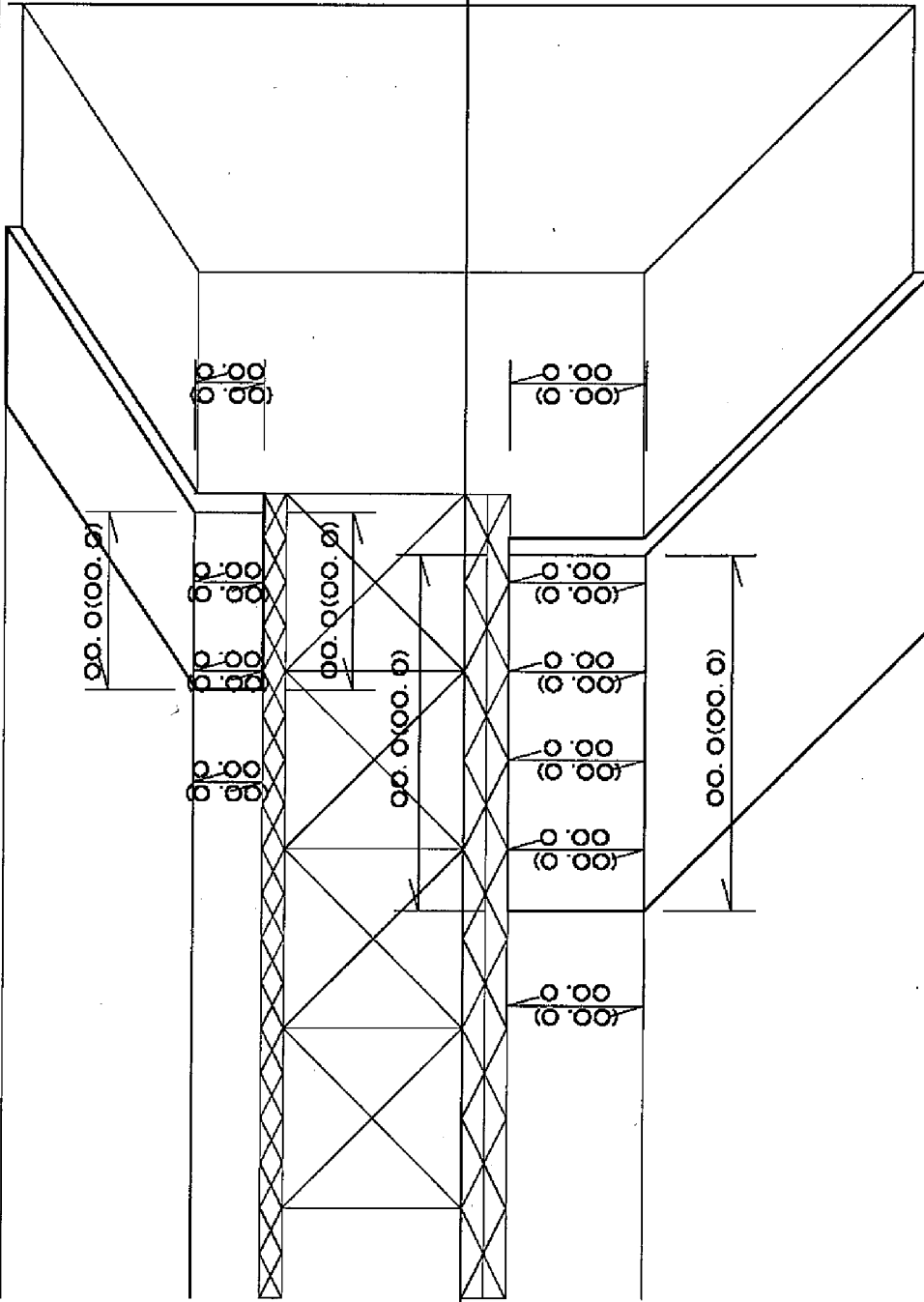
工事名:

被覆石均し出来形管理図(2)

様式: 出来形 12-1(2)

平面図

港内側



港外側

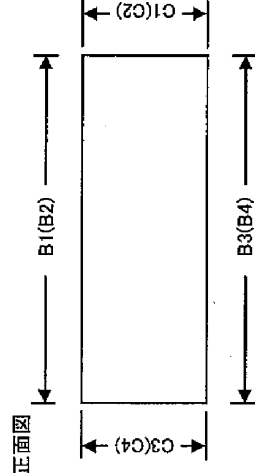
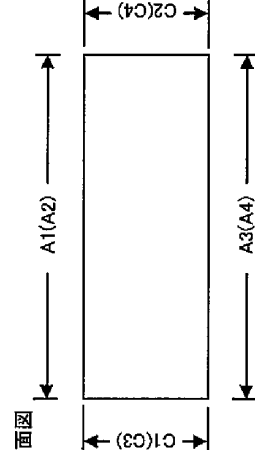
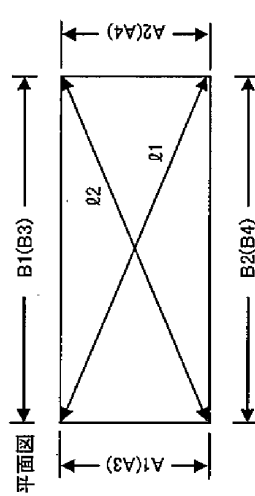
凡例
 (): 設計値
 実数: 実測値

根固ブロック製作出来形管理表

工事名:

現場代理人

製作番号	長さ		幅				長さ		対角線		備考			
	上側	下側	上側	下側	左側	右側	01	02						
	B1	B2	B3	B4	A1	A2	A3	A4	C1	C2	C3	C4		
設計値														
実測値														
差														

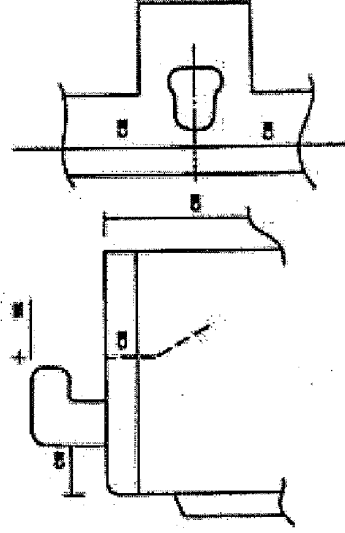


現場代理人

工事名: _____

番号 基点0より	岸壁前面に対する出入り	天端高	中心間隔	基礎コンクリート(直柱)		備	考
				幅	長さ 高さ		

係船柱測定位置図



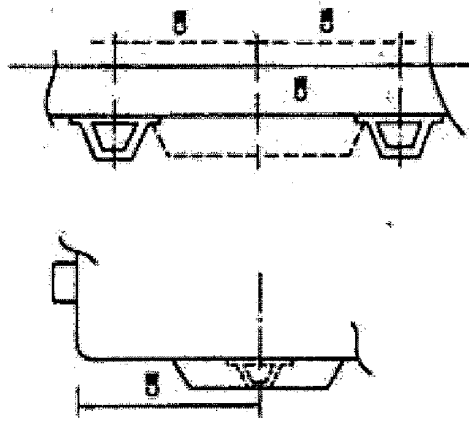
防眩材出来形管理表

工事名: _____

現場代理人 _____

番号 基点0より	取付高さ —	中心間隔 —	備 考

防眩材測定位置図

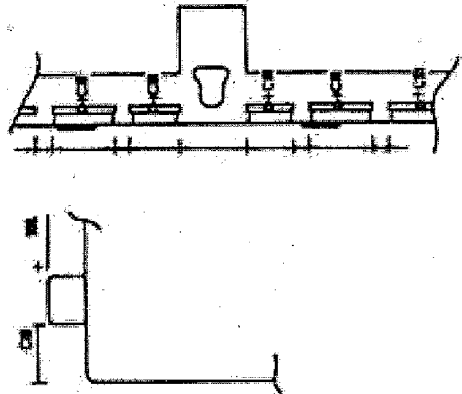


車止出来形管理表

工事名: _____ 現場代理人 _____

番号 基点0より	岸壁前面に対する出入り	天端高	取付間隔	備	考

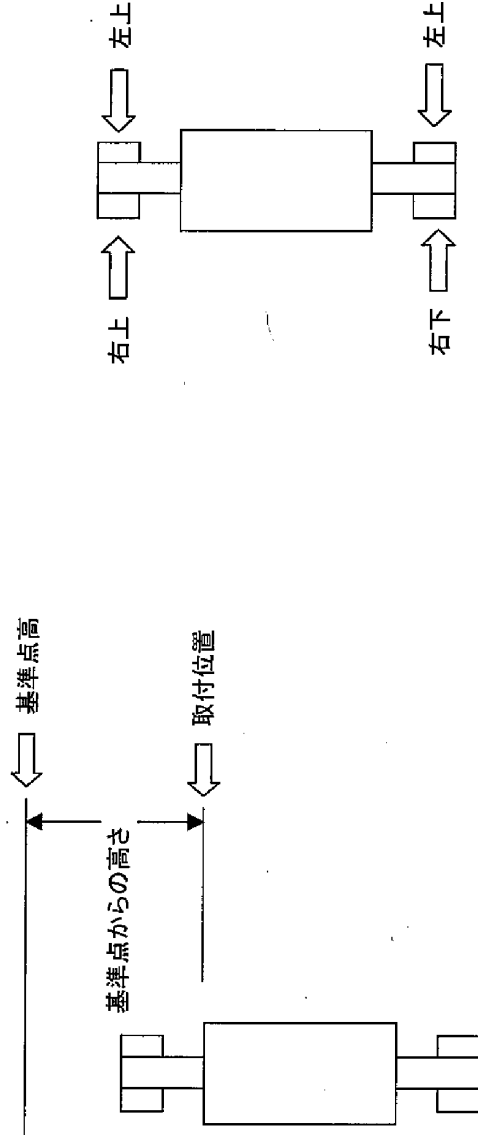
車止測定位置図



電気防食出来形管理表

工事名: _____ 現場代理人 _____ 平成 年 月 日 様式・出来形14-4(1)

陽極NO	取付位置		基礎点からの高さ		差		溶接部				脚	長		
	設計値	実測値	設計値	実測値	差	溶接		溶接		脚		右	左	
						右	左	右	左	右				左



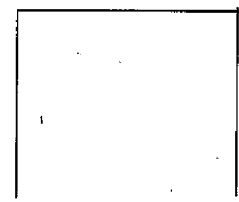
樣式·出來形14-4(2)
平成 年 月 日

電氣防食電位測定管理表

工事名: _____

現場代理人 _____

測定水深	測定位置												備考			
	P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8	P-9	P-10	P-11	P-12				



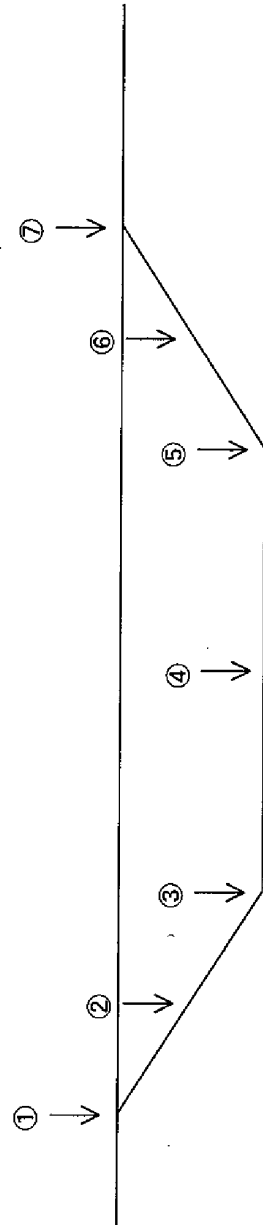
- P-7
 - P-9
 - P-10
 - P-11
 - P-12
-
- P-1
 - P-2
 - P-3
 - P-4
 - P-5
 - P-6

土砂掘削出来形管理表

工事名: _____

現場代理人 _____

測点 No. 00	種別 設計値 測定値 差	高							幅				延						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	〇~〇	〇~〇	〇~〇	〇線上	〇線上	〇線上					
No. 00																No. 00	No. 00	No. 00	
No. 00																			
No. 00																			

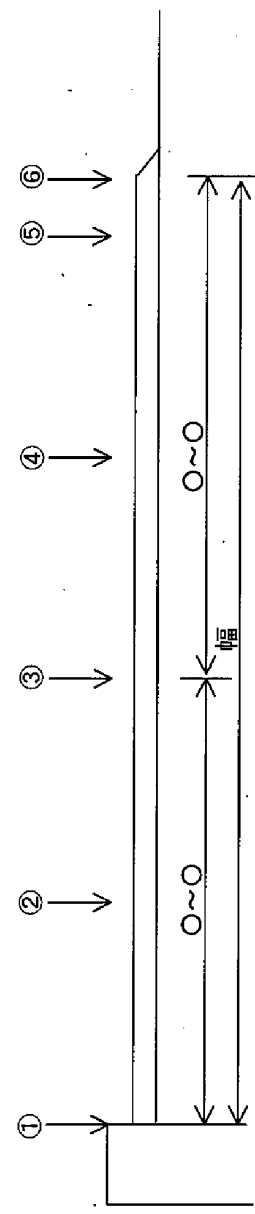


路盤出來形管理表

現場代理人

工事名:

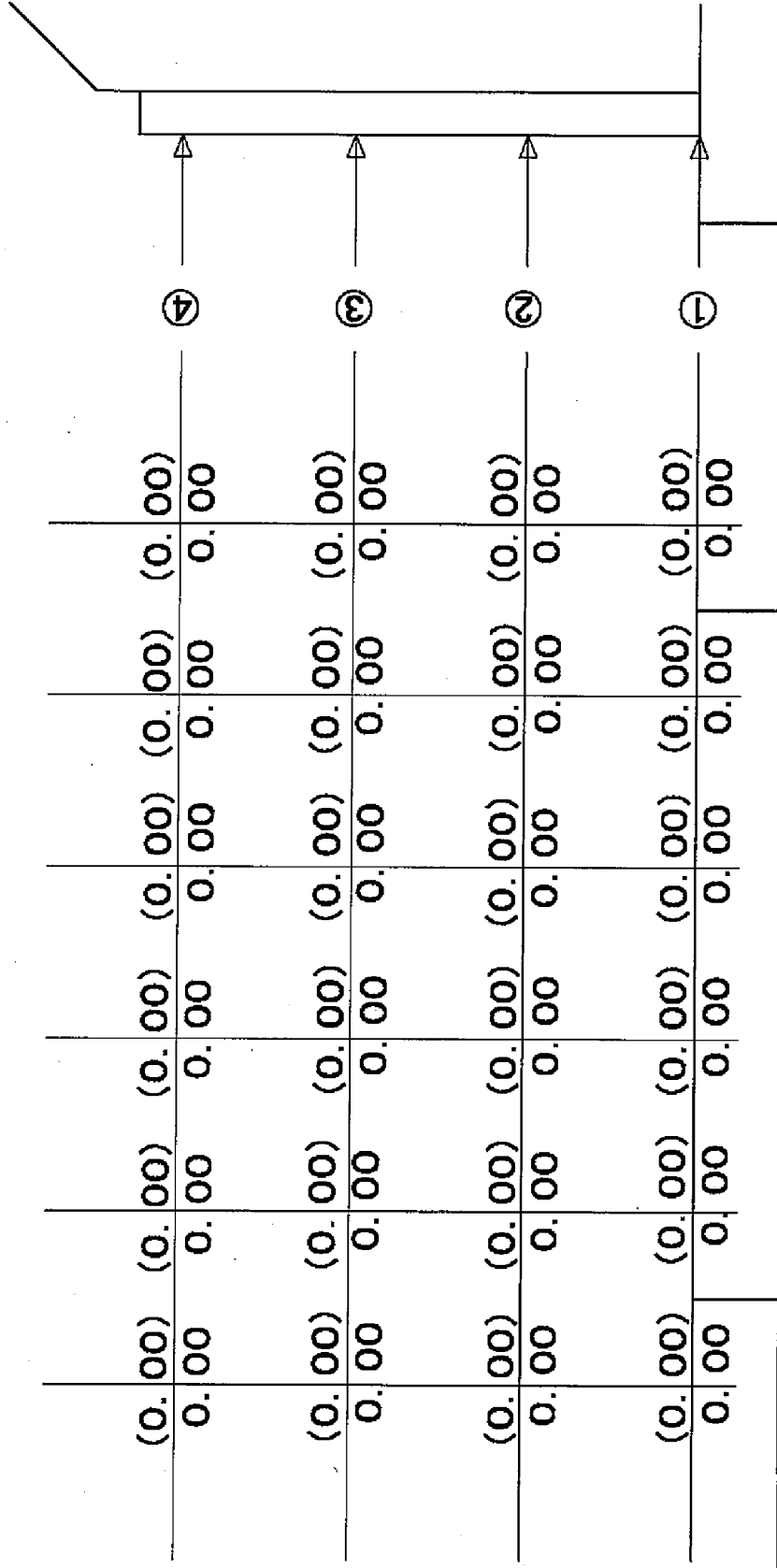
測点	種別	高						幅						延長				
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮		
NO. 00	路盤設計厚 路床高 路盤高 厚さ	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000
NO. 00																		
NO. 00 +0.00																		
NO. 00																		



工事名:

路盤出来形管理図

様式・出来形 20-1(2)



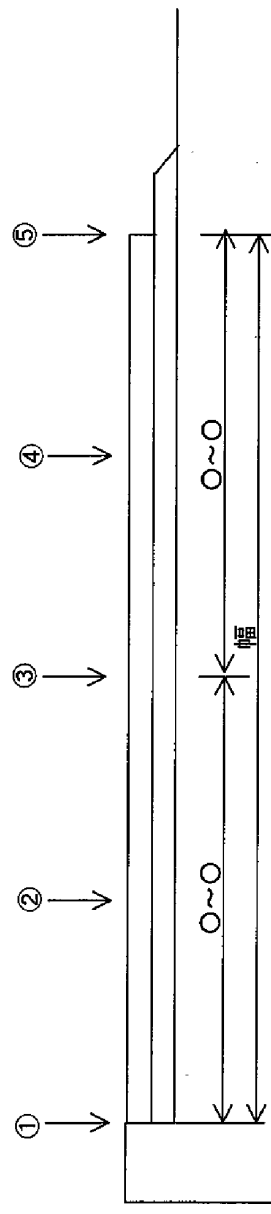
凡 例
() : 設計値
実 数 : 実測値

舗装出来形管理表

現場代理人

工事名:

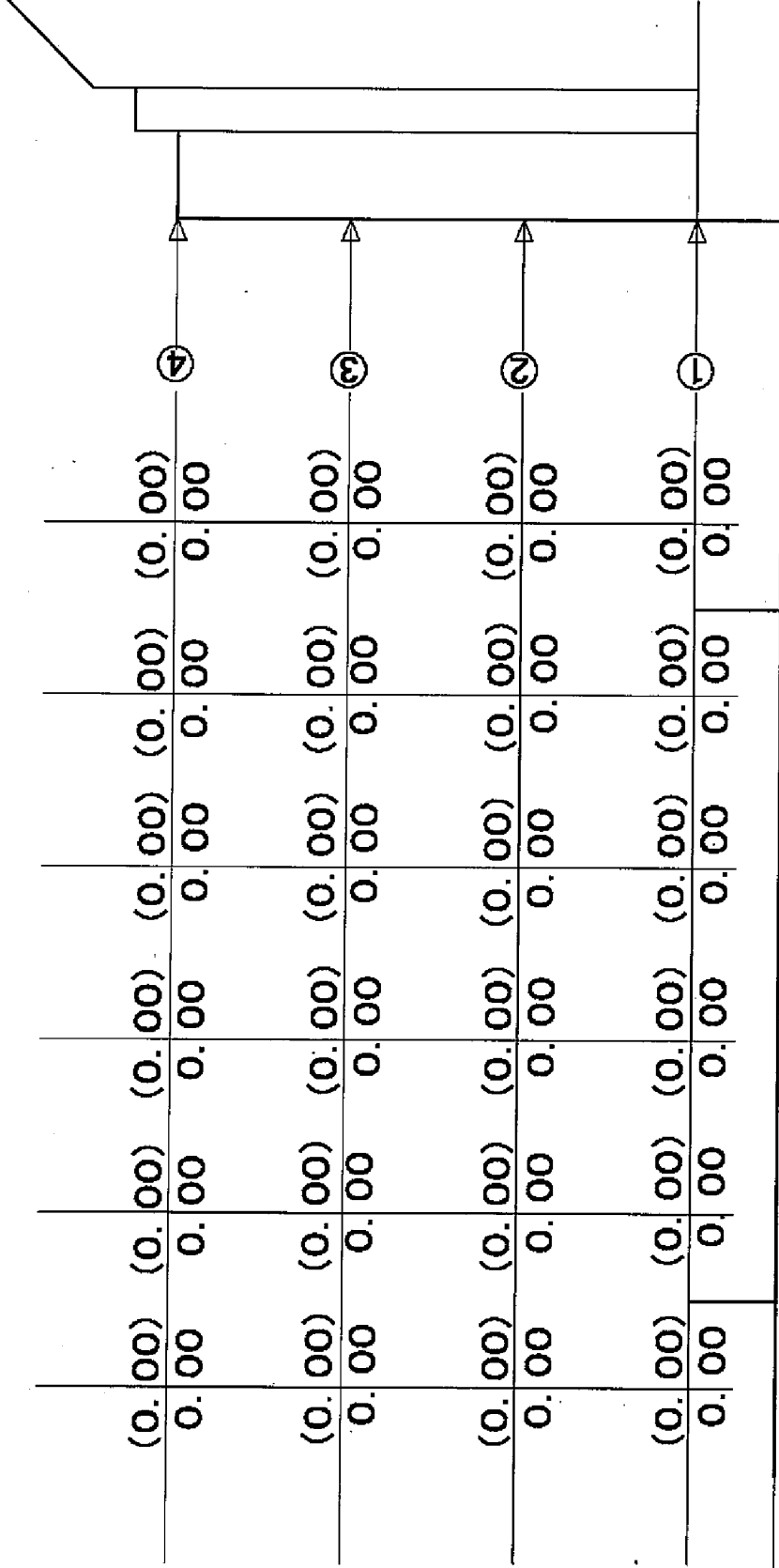
測点	種別	高					さ					幅					延																						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱																				
	舗装設計厚	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000	000						
NO. 00	路盤高																																						
	大端高																																						
	厚さ																																						
NO. 00																																							
NO. 00																																							
NO. 00																																							
+	0. 00																																						
NO. 00																																							



工事名:

舗装出来形管理図

様式・出来形 20-2(2)



凡 例
 (): 設計値
 実 数: 実績値

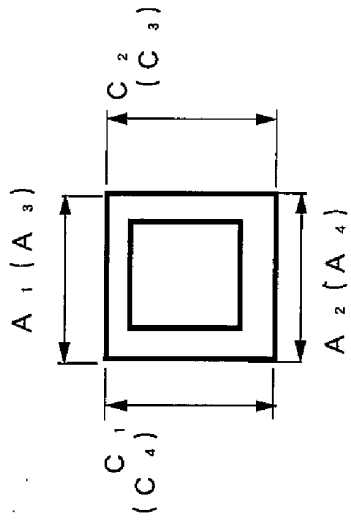
単体魚礁製作出来形管理図

工事名: _____

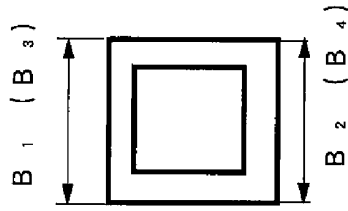
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

現場代理人 _____

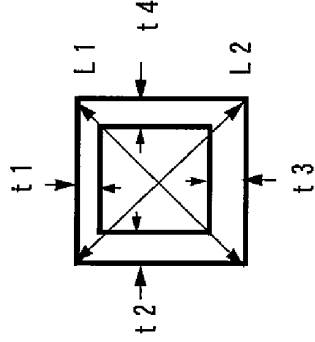
側面図



正面図



平面図



製作番号	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	t1	t2	t2	t4	L1	L2	
	設計値																		
実測値																			
差																			
設計値																			
実測値																			
差																			
設計値																			
実測値																			
差																			
設計値																			
実測値																			
差																			

組立魚礁についても上記の表を準用する。

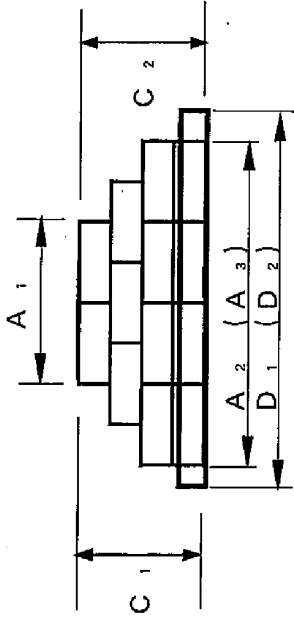
組立魚礁組立出来形管理図

工事名: _____

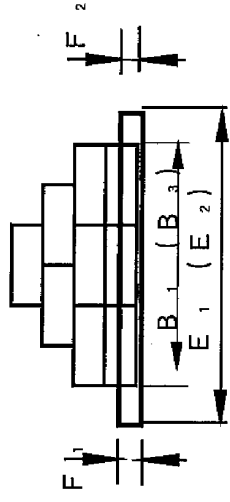
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

現場代理人 _____

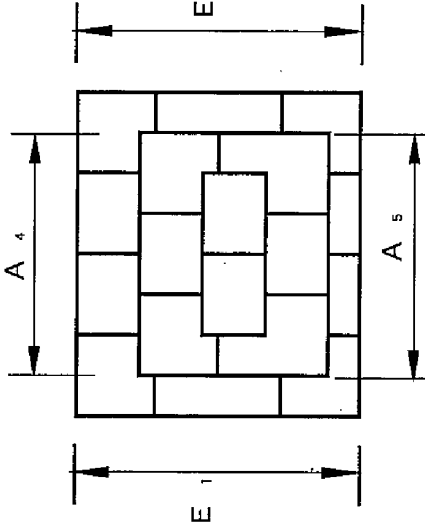
(a) 側面図



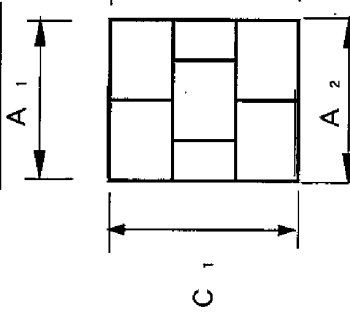
正面図



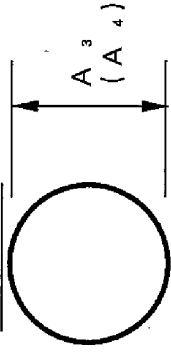
平面図



側・正面図



平面図



(b)

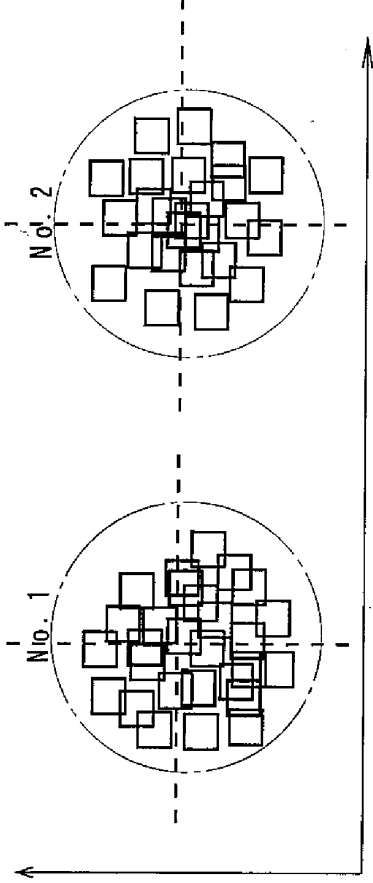
魚礁沈設出来形管理表 (1)

工事名: _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

現場代理人 _____

魚礁沈設位置 (集中配置)



沈設位置

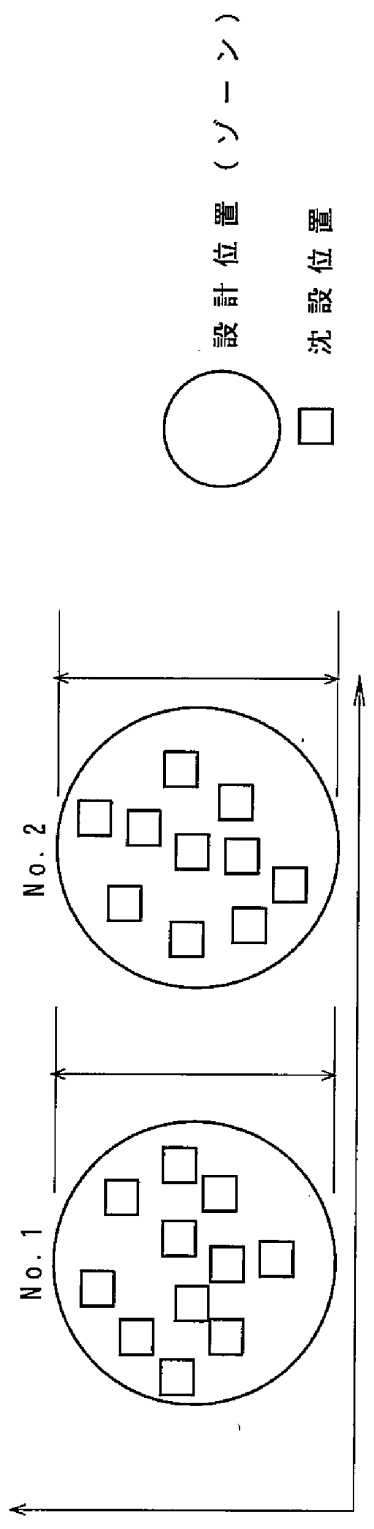
魚礁沈設出来形管理表

測点番号	魚名	礁称	製作番号 中心点	沈月	沈日	X座標 (緯度) 沈設位置		Y座標 (経度) 沈設位置		偏心距離 (m)
						設計位置	設計位置	設計位置	設計位置	
No. 1			1-1							
			1-10							
			1-20							
No. 2			2-1							
			2-10							
			2-20							
No. 3			中心点							
No. 4			中心点							

魚礁沈設出来形管理表 (2)

工事名: _____
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 現場代理人 _____

魚礁沈設位置 (ゾーン配置)



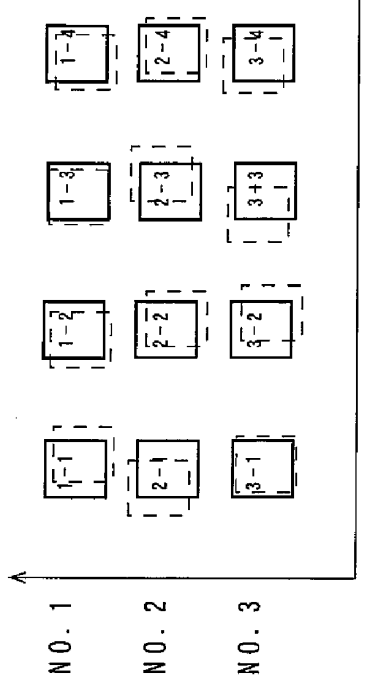
魚礁沈設出来形管理表

測点番号	魚名	魚礁称	製作番号	沈月	沈日	X座標 (緯度)		Y座標 (経度)		偏心距離 (m)
						設計位置	沈設位置	設計位置	沈設位置	
No. 1			中心点							
			1-1							
			1-10							
No. 2			中心点							
			2-1							
			2-10							
No. 3			中心点							
No. 4			中心点							

魚礁沈設出来形管理表 (3)

工事名: _____
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 現場代理人 _____

魚礁沈設位置 (計画配置)



魚礁沈設出来形管理表

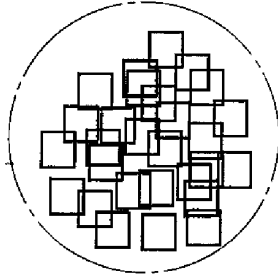
測点番号	魚名	魚礁称	製作番号	沈月	沈日	X座標 (緯度)		Y座標 (経度)		偏心距離 (m)
						設計位置	沈設位置	設計位置	沈設位置	
No. 1			1-1							
			1-2							
			1-3							
			1-4							
No. 2			2-1							
			2-2							
			2-3							
			2-4							
No. 3										
No. 4										

魚礁沈設出来形管理表 (4)

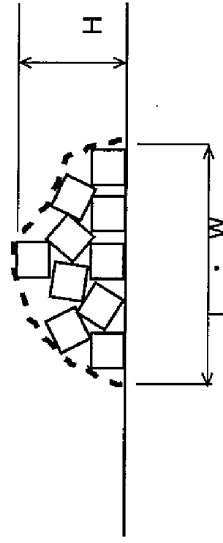
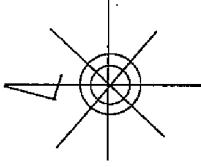
工事名: _____
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 現場代理人 _____

魚礁沈設位置 (集中配置・ゾーン配置)

No. 1



測定方向



魚礁沈設出来形管理表

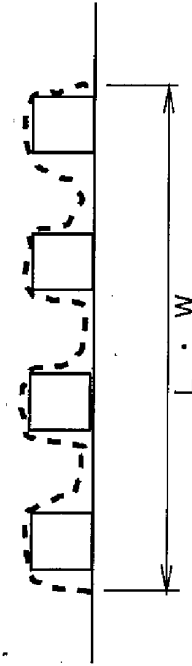
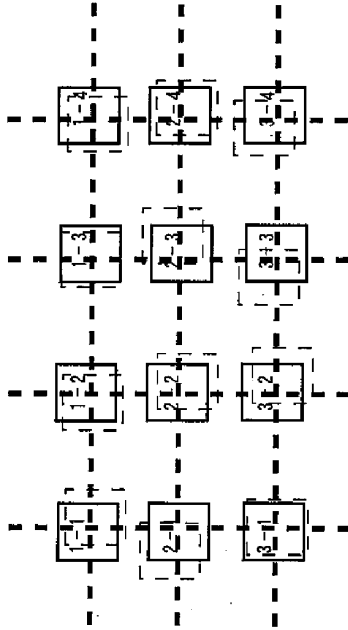
(測定単位: 0.1m)

測点番号	測定方向	高さ (H) m	長さ (L) m	幅 (W) m
No. 1				
No. 2				
No. 3				
No. 4				

魚礁沈設出来形管理表 (5)

工事名: _____
 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 現場代理人: _____

魚礁沈設位置 (計画配置)



魚礁沈設出来形管理表

(測定単位: 0.1m)

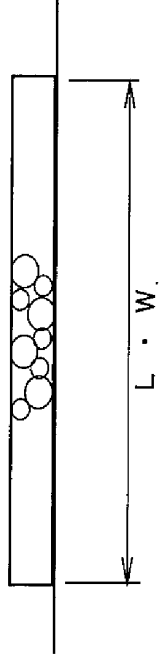
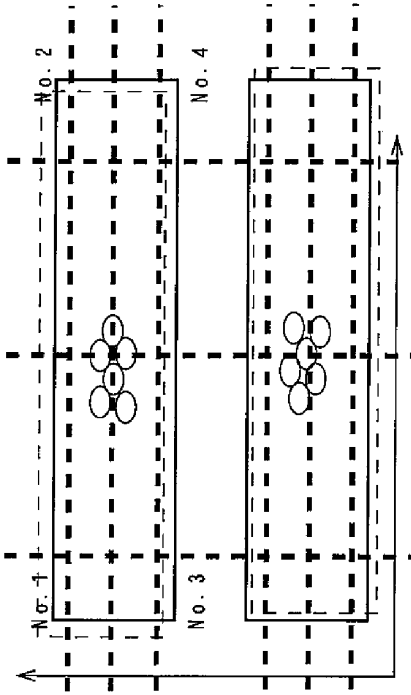
測点番号	測定方向	長さ (L) m	幅 (W) m
No. 1			
No. 2			
No. 3			
No. 4			

石材投入出来形管理表

工事名: _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
現場代理人 _____

石材投入位置



石材投入出来形管理表

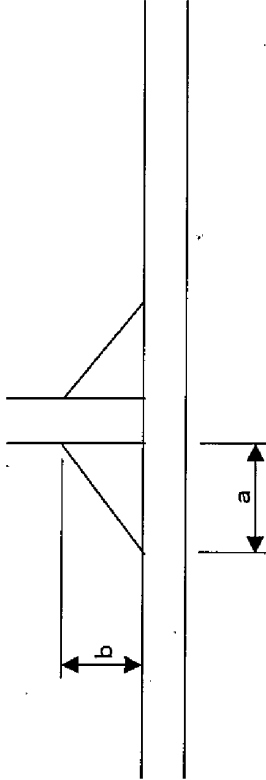
積載 船名	石材 規格	投入量 (m ³)	投入 日 投月	測点 番号	X座標 (緯度)		Y座標 (経度)		偏 心 距 離 m	測 線 番 号	長 さ (L) m	幅 (W) (m)
					計 画 位 置	投 入 位 置	計 画 位 置	投 入 位 置				
				No. 1								
				No. 2								
				No. 3								
				No. 4								

(測定単位: 0.1m)

すみ肉溶接出来形管理表

工事名: _____ 現場代理人 _____

測定箇所	溶接脚長		溶接長	測定箇所	溶接脚長		溶接長
	a	b			a	b	
設計値 実測値 差				設計値 実測値 差			



突合せ溶接出来形管理表

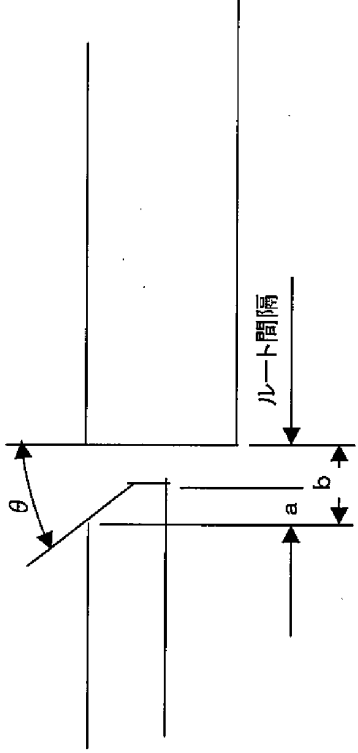
様式・出来形27-1(2)

工事名: _____

平成 年 月 日

現場代理人 _____

測定箇所	溶接脚長			溶接長	測定箇所 設計値 実測値 差	溶接脚長			溶接長			
	A	B	θ			A	B	θ				



様式・出来形27-1(3)

平成 年 月 日

鉄筋フレア溶接出来形管理表

工事名:

現場代理人

測定箇所	鉄筋径 D	のど厚 a	溶接長	測定箇所	鉄筋径 D	のど厚 a	溶接長